



品質・効率向上の徹底支援

株式会社ヴェス

トータルソリューションご紹介資料

株式会社 **ヴェス**

<https://www.ves.co.jp>

株式会社ヴェスは2003年の創業以来、「ユーザー」と「モノづくり」をつなぐ、ソフトウェア検証を提供して参りました。

製品における機能不具合の発見から、ユーザビリティに関する問題に至るまでの、**“総合的な品質検証サービス”**で、

お客様の製品の品質向上、ひいてはエンドユーザーの信頼獲得につながるよう全力でサポートさせていただきます。

累計**13,000**件以上
豊富な検証実績

2003年にソフトウェア検証サービスをスタートして以来、様々な業界で検証に特化した技術とノウハウを蓄積してきました。



業界**No.1** IVECの最高位
プラチナパートナー認定

IT検証技術者認定試験 (IVEC)の最高レベル・LEVEL 5 認定者業界No.1。ハイレベルなテストエンジニアが揃っています。



ソフトウェアテスト国際資格**JSTQB**
プラチナパートナー認定

国際的な資格認定を行うISTQBより高品質なテストサービスが認められた証である「プラチナパートナー」に認定をいただいております。





株式会社 ヴェス 会社概要

株式会社ヴェスは、品質で社会に貢献するというミッションを掲げ、創業以来22年の信頼と実績を積み重ねてきました。



業務内容	<ul style="list-style-type: none">ソフトウェア品質検証事業ソフトウェア開発事業（SES）
設立	2003年7月1日
本社所在地	東京都渋谷区恵比寿四丁目20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー8階
従業員数	235名（単体）／400名（連結）※2026年1月現在 検証技術者：133名 開発技術者：84名 営業事務等：18名
資本金	1,000万円
親会社	株式会社Orchestra Holdings （東京証券取引所 プライム市場上場 証券コード 6533）
認証	 

国内3拠点のネットワークを活かし、全国各地で迅速かつ柔軟な対応が可能です。各地域で豊富な案件実績を持ち、お客様のニーズに合わせたサービスを提供しています。

滝沢ソフトウェア検証センター

在籍人数38名

所在地 岩手県 滝沢市

居室面積 243.4㎡

施設 セキュリティドア2箇所、監視カメラ



RB-IS24002



MS
CM044

登録事業所：

首都圏ソフトウェア検証センター
滝沢ソフトウェア検証センター



首都圏ソフトウェア検証センター

在籍人数243名

所在地 東京都 世田谷区

居室面積 137.1㎡

施設 セキュリティドア2箇所、個室

大阪オフィス
2025年2月17日開設



福岡オフィス

在籍人数2名

所在地 福岡県 福岡市

居室面積 93.3㎡

施設 セキュリティドア1箇所



本社（恵比寿ガーデンプレイス）

※ 在籍人数は各拠点に属する人数を示しています

私たちはグループ全体の強力なバックアップ体制を活かし、多岐にわたるリソースを共有しながら、課題への迅速な対応が可能です。各グループ会社の専門性を活用することで、幅広いソリューションを提供し、お客様の成功を全面的にサポートします。

2018年12月14日
東証1部上場
(現プライム市場)

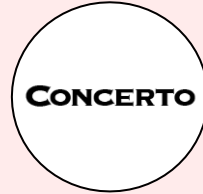


株式会社Orchestra Holdings

M&A



創造の連鎖を生み出す企業家を応援する、コーポレートベンチャーキャピタル



M&Aプラットフォーム事業としてM&Aマッチングプラットフォームの開発運営とM&Aアドバイザーサービスの提供、その他のニーズマッチングプラットフォームの開発・運営

IT



ソフトウェアテスト（第三者検証サービス）で、ソフトウェア開発の品質・効率の向上を支援



ゲーム開発、その他デジタルコンテンツ（デジタルツイン）などの開発支援を提供

2021年3月24日
マザーズ上場
(現グロース市場)



イノベーションで社会を豊かに、テクノロジーで未来を創る



タレントマネジメントクラウドサービス「スキルナビ」運営

マーケティング



戦略から実行まで。成果を出し続けるデジタルマーケティングパートナー

人材



ITエンジニア・クリエイター専門の案件マッチングサービス「テックリーチ」を提供

2025年度より子会社として以下の2社がジョインいたしました。今後グループ間のシナジーも生み出しながら、サービス展開の拡大を図ってまいります。



株式会社ヴェス

品質のエキスパートとして、品質管理におけるサービス展開を行う

<サービス例>

- ・第三者検証
- ・テスト自動化
- ・開発インフラエンジニアリング



株式会社日本技研 プロフェッショナルアーキテクト

SES（Java）を中心に上流から運用までのサービス展開を行う

<サービス例>

- ・スマートフォンアプリ開発
- ・Webサイト開発

[グループ間のシナジー]

様々なIT関連サービス・プロダクトを通じて、多くのクライアント方々の“より快適”な生活及び、ビジネス環境をつくる



株式会社 ケーウェイズ

自動認識とIoTに特化し、上流から運用までのサービス展開を行う

<サービス例>

- ・自動認識システム
- ・IoT開発
- ・ハードウェア・パッケージ販売



ソリューション紹介

弊社は、お客様が市場に展開する各種製品やサービスのソフトウェア品質課題を解決する、品質のプロフェッショナルです。最終製品やサービスの魅力品質に寄与する「プロダクト品質支援サービス」および、ソフトウェア開発プロジェクトを成功に導く「プロジェクト品質支援サービス」にて、お客様ビジネスを成功に導きます。

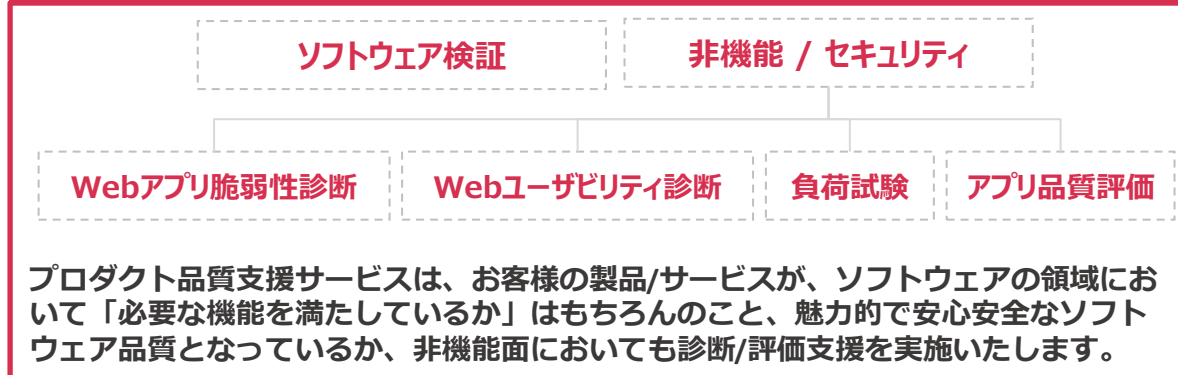
弊社の考える品質種別

品質種別に対するソリューション例

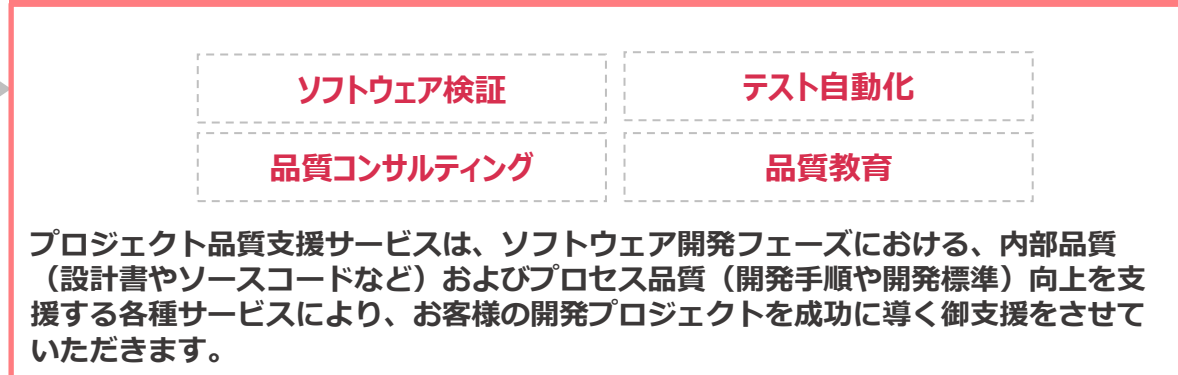
プロダクト品質 最終製品/サービスの品質



プロダクト品質支援



プロジェクト品質支援



開発プロセスにおけるヴェスの品質支援マップ



凡例

- : サービス対象スコープ
 - : サービス提供ロール
- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| PMO : Project Management Office | AM : 自動化マネージャー |
| QMO : Quality Management Office | AL : 自動化リーダー |
| PM : プロジェクトマネージャー | AD : 自動化デザイナー |
| TM : テストマネージャー | AS : 自動化スクリプター |
| TL : テストリーダー | SC : セキュリティコンサル |
| TD : テストデザイナー | SP : スペシャリスト |
| TO : テストオペレーター | |

		開発プロセス																			
		計画	要求分析	要件定義	外部設計	内部設計	実装コーディング	単体テスト	結合テスト	総合テスト	受入テスト										
VES サービス	品質コンサルティング	QMO (品質管理支援)																			
		QA立ち上げ	<div style="background-color: #f08080; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> PMO QMO PM </div>																		
		docインスペクション																			
		PMO																			
	ソフトウェア検証	テスト計画/設計																			
		テスト実行	<div style="background-color: #f08080; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> TM TL TD TO </div>																		
		不具合分析																			
	テスト自動化	自動化要求分析/PoC																			
		自動化アーキテクチャ設計	<div style="background-color: #f08080; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> AM AL AD AS </div>																		
		自動化スクリプト																			
		自動化運用保守																			
	非機能セキュリティ	脆弱性診断																			
		AI/LLM診断	<div style="background-color: #f08080; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> SC SP </div>																		
		UI/UX診断																			
		パフォーマンス診断																			

開発プロセスにおけるヴェスの品質支援（1/3）

品質活動における弊社対応内容を明記いたします。

弊社対応エリア

工程	プロジェクトの活動	成果物	品質活動
<p>1. 計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> 顧客に提供する価値を定義する プロジェクトの目的、目標、範囲、予算、期間を明確にする リスクの評価と管理計画を決定する 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト計画書 スケジュール表/WBS 課題/リスク管理表 移行計画書 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト計画書やWBSのレビュー、分析、再確認 課題やリスクの評価・管理状況のレビュー、分析、再確認 移行計画書のレビュー、分析、再確認 品質基準、完了定義のレビュー、分析、再確認
<p>2. 要求分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> システムやアプリケーションで実現したい要求事項を洗い出す →システムが何を達成すべきかを明確にする 	<ul style="list-style-type: none"> 要求仕様書 ユーザストーリー ユースケース図 	<ul style="list-style-type: none"> 要求仕様書のレビュー、分析、再確認 ユーザストーリーのレビュー、分析、再確認 ユースケース図のレビュー、分析、再確認
<p>3. 要件定義</p>	<ul style="list-style-type: none"> システムやアプリケーションの具体的な要件を明確にする システムの機能、性能、制約、インターフェース、データモデルなどを決定する 	<ul style="list-style-type: none"> 要件仕様書 機能、性能、制約、インターフェース、データモデルなどの仕様書 	<ul style="list-style-type: none"> 要件仕様書のレビュー、分析、再確認 各仕様書のレビュー、分析、再確認

ゲート① 何を作るか、何を達成したら完了といえるかが明確な状態であること

ゲートとは各工程で完結すべきこと(=後工程のために配慮すべきこと)である。

上流(V字モデルの左上が上流)の質が高まることでテスト(V字の右側)の質が高まり、テストの質が高まることで製品の質が高まる。


ゲート①では、何がいつまでにどの状態になっていたら製品が完成したといえるのか、品質を含めた製品の完成の基準を明確にする。

開発プロセスにおけるヴェスの品質支援（2/3）

工程	プロジェクトの活動	成果物	品質活動
 4. 設計	<ul style="list-style-type: none">システムが実現できなければならない機能・性能・規格を明示するプログラムの構造やデータ構造を明示する	<ul style="list-style-type: none">アーキテクチャ設計、インターフェース設計、API設計、DB設計などの設計書	<ul style="list-style-type: none">各設計書のレビュー、分析、再確認 要求・要件が実現可能な状態に定義され、抜け漏れや不要な重複、誤りがないことを確認する
 5. 実装 コーディング	<ul style="list-style-type: none">外部設計、内部設計で定義された機能を実現するための各パーツを全て実装する	<ul style="list-style-type: none">ソースコード	<ul style="list-style-type: none">コードレビュー、分析、再確認 コードがコーディングルールや標準に則って記載されていることを確認する静的解析ツールを用いた診断
 6. テスト 単体テスト	<ul style="list-style-type: none">実装したモジュール単体の動作が内部設計で定義された機能を実現していることを確認する	<ul style="list-style-type: none">単体テスト仕様書単体テストコードテスト結果	<ul style="list-style-type: none">テストケースレビュー、分析、再確認 モジュール単体の動作結果と、モジュール内の条件分岐を確認する
 6. テスト 結合テスト	<ul style="list-style-type: none">実装した自システム内モジュール間や他システムとのインターフェースを確認し、動作が外部設計で定義された機能を実現していることを確認する	<ul style="list-style-type: none">結合テスト仕様書テスト結果不具合報告書	<ul style="list-style-type: none">テスト設計、レビュー、修正、再確認テスト実施テスト自動化品質状況分析


ゲート② 成果物の達成基準を、他システムとの連携を含めて自システム内において達成した状態であること
システムが実現するべき機能・性能・規格を達成し、他システムとの連携を含むシステム全体の達成基準を満たしていることを確認する。

開発プロセスにおけるヴェスの品質支援（3/3）

工程	プロジェクトの活動	成果物	品質活動
 6. テスト 総合テスト	<ul style="list-style-type: none">すべての機能が要件通りに動作することを確認する負荷テストやセキュリティ診断などもこの工程で並行して実施することが多い	<ul style="list-style-type: none">総合テスト仕様書テスト結果不具合報告書	<ul style="list-style-type: none">テスト設計、レビュー、修正、再確認テスト実施テスト自動化品質状況分析

ゲート③ 機能、性能、セキュリティが顧客利用に能う状態であること

システムが実現すべき機能・性能・セキュリティを達成し、当該システムを利用したサービスを顧客に提供できる満たしていることを確認する。

 6. テスト 受入テスト	<ul style="list-style-type: none">すべての機能が要求通りに動作することを確認する システムを受け入れるべきかどうか重点を置いて確認する	<ul style="list-style-type: none">受入テスト仕様書テスト結果不具合報告書	<ul style="list-style-type: none">テスト設計、レビュー、修正、再確認テスト実施テスト自動化品質状況分析
--	--	---	---

 7. 本番稼働準備

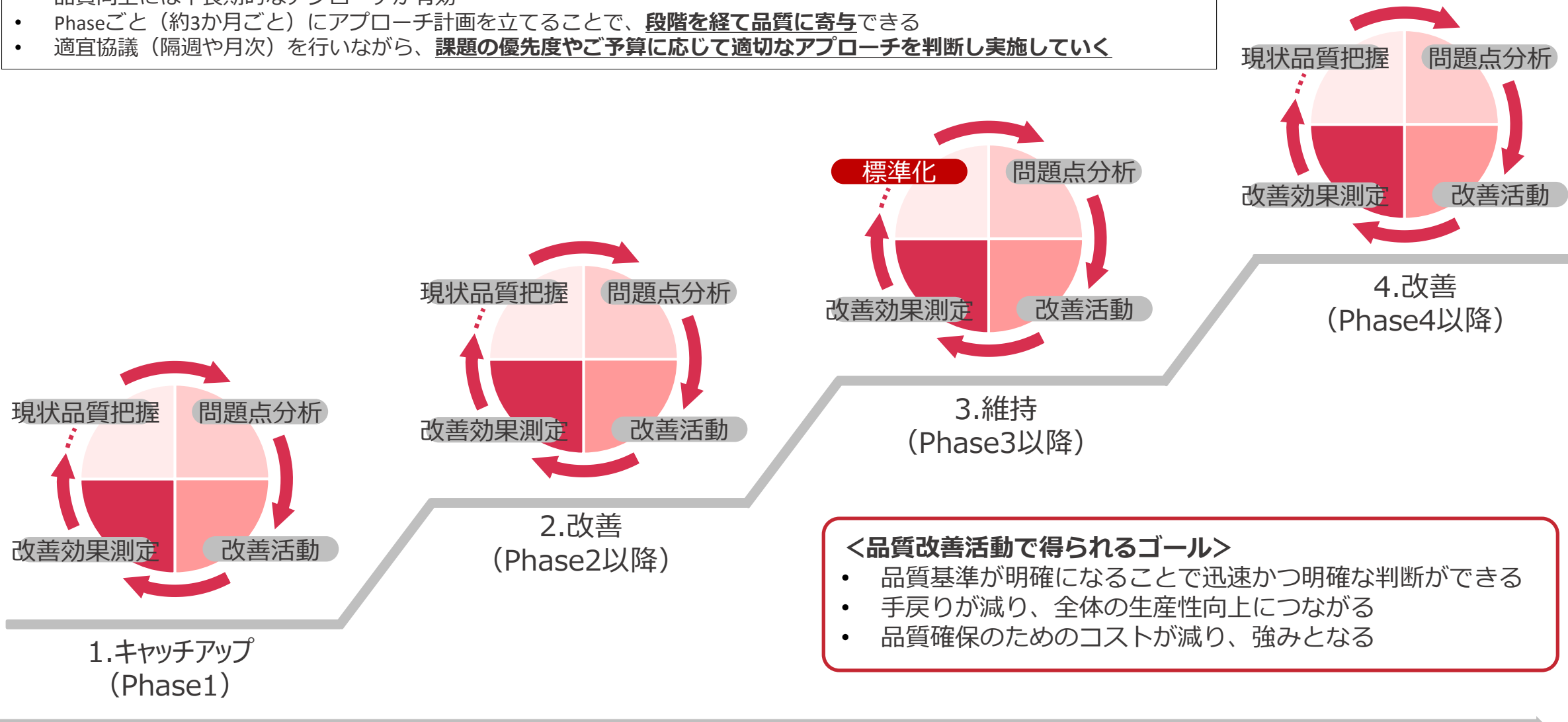
 8. 運用と保守

品質向上に向けたアプローチイメージ

<ポイント>

- 品質向上には中長期的なアプローチが有効
- Phaseごと（約3か月ごと）にアプローチ計画を立てることで、**段階を経て品質に寄与**できる
- 適宜協議（隔週や月次）を行いながら、**課題の優先度やご予算に応じて適切なアプローチを判断し実施していく**

品質
水準



<品質改善活動で得られるゴール>

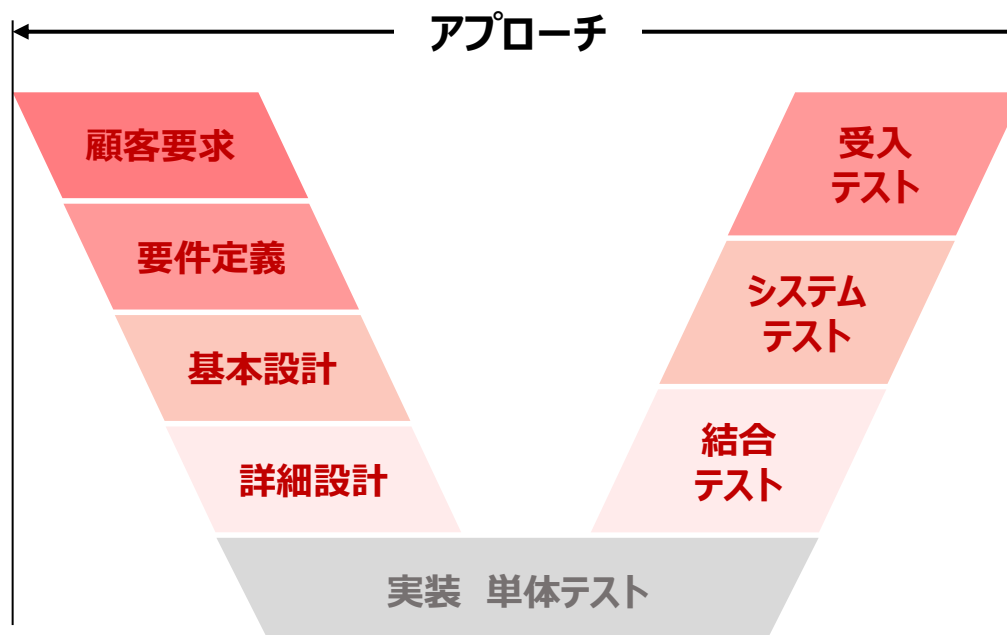
- 品質基準が明確になることで迅速かつ明確な判断ができる
- 手戻りが減り、全体の生産性向上につながる
- 品質確保のためのコストが減り、強みとなる

上流工程で、テスト要件仕様書及びテスト設計書のドキュメントを作成しテスト基本設計を行うことで、仕様の曖昧さ、抜け漏れを明確にするアプローチを実施します。上流工程から第三者検証を導入することで開発プロセス全体を通して、検証視点で品質を作り込むことを実現することができます。

上流工程 品質を作り込むフェーズ

下流工程 品質を確認するフェーズ

目的	<ul style="list-style-type: none">品質を作り込む製品の要求、要件を明確にする
対応手段	<ul style="list-style-type: none">テスト要求分析やドキュメント検査で設計前、設計段階での要求要件仕様漏れを極力防ぐ
効果	<ul style="list-style-type: none">作り込みのミスを検出することで下流工程への不具合流出を防ぐ開発手戻りを抑止することで、納期やリリースの遅延を防ぐ

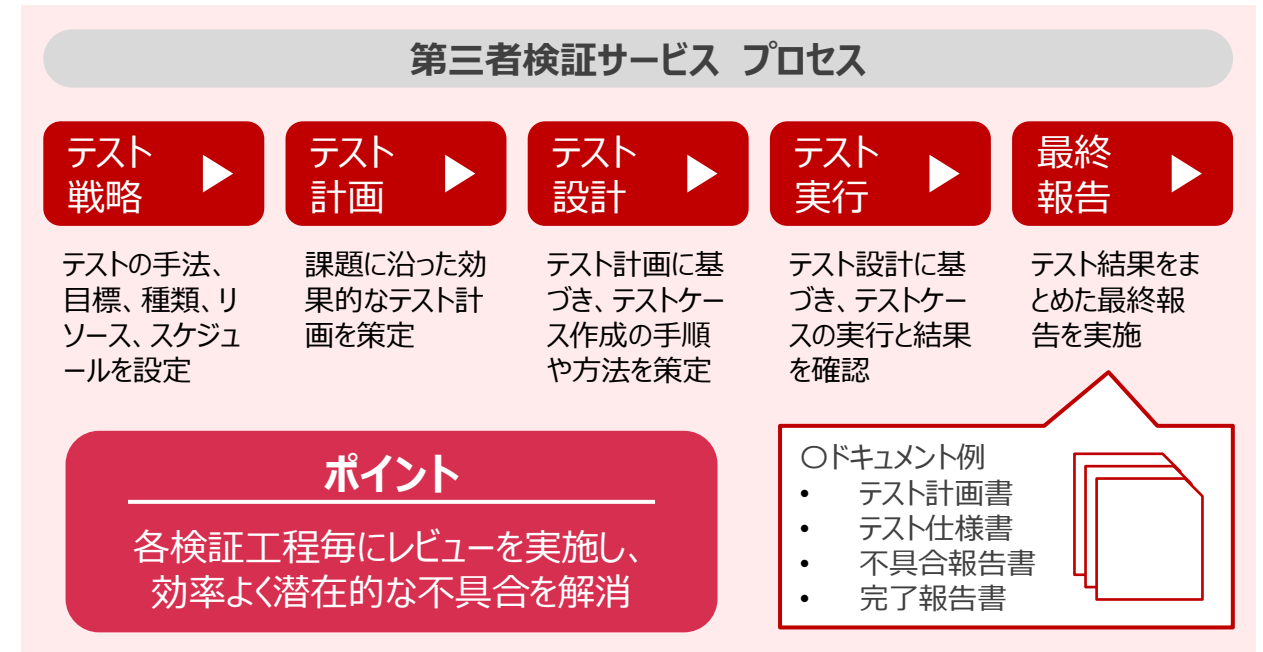
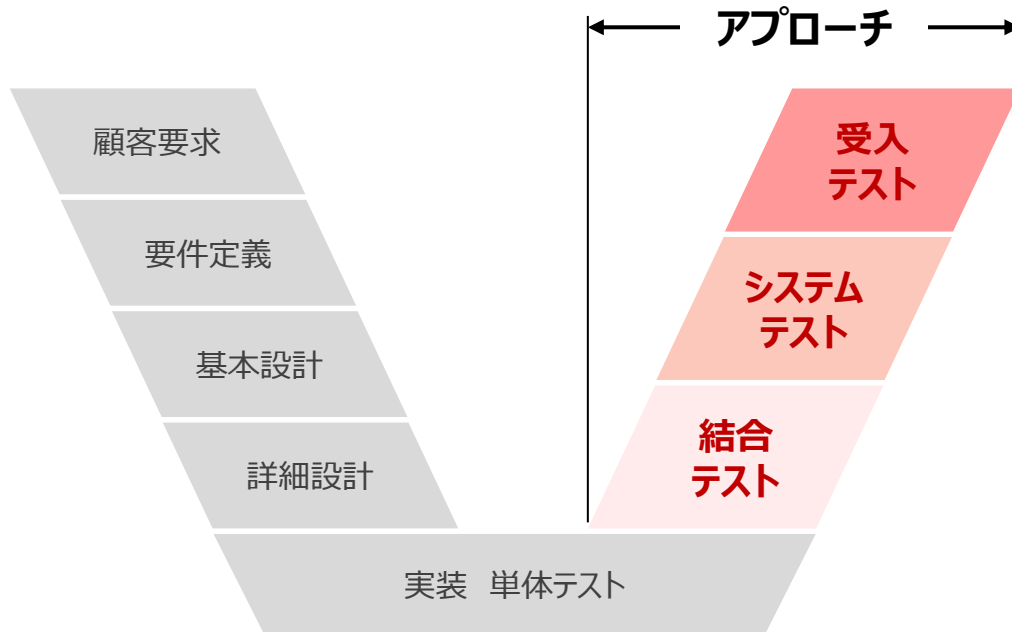


目的	<ul style="list-style-type: none">品質の作り込みの妥当性を確認する作り込みのミスを検出する
対応手段	<ul style="list-style-type: none">メトリクス収集 テスト観点の見極め受入テストの実施 テスト受入品質を見極める
効果	<ul style="list-style-type: none">限られた時間の中で優先的にテストを行う箇所を見極める無駄なテストを実施しない開発チームに無駄な時間を取らせないことで品質向上に取り組む実質的な時間を増やす

ポイント

上流工程：いかにしてバグを埋め込まないようにするかを確認
下流工程：いかにして混入したバグを検出するかを確認

ソフトウェア検証サービスは、結合テスト以降のテストフェーズをどのようなテストを行うかを定めるテスト戦略から計画、設計、実行、最終報告まで全てのプロセスにおいて支援が可能です。お客様の品質課題に合わせて、技術力と経験を兼ね備えたエンジニアが御支援をさせていただきます。



第三者検証ソリューション（抜粋）



●ソフトウェア検証サービス

客観的な視点でソフトウェアの検証と評価を行い見落としがちな問題点を発見して報告を実施



●組み込み検証サービス

組み込まれた制御ソフトウェアが正しく動作し、目的を達成することができるかを様々なテストで確認を実施



●EC/Web検証サービス

Webサービスを展開されているお客様向けにテスト計画から実施までワンストップでスピード重視の検証を実行

従来人手で行っていたテスト（アプリケーションの操作等）をプログラム（ツール）を実行することで自動化します。人為的なミスやモレを削減することが可能となり、より網羅的なテストを行うことで品質の担保が実現できます。ツールはお客様の製品やサービス、予算、目的に合わせて選定から御提案します。

目的	具体的な効果
品質向上	ヒューマンエラー削減、テスト網羅率向上
開発スピード向上	早期バグ検出、CI/CDとの統合
コスト削減	手動テストの負担軽減、長期的な改善
継続的な改善	テストの資産化、ライフサイクル化
UX向上	安定した品質の提供、パフォーマンステスト

ツール例

環境にあわせた効果的なツールの選択と汎用性の高いスクリプト作成



テスト自動化サービス 4つのステップ

STEP 1

現状分析・要件整理

現在のテストプロセスを分析し、自動化の目的・対象・優先度を明確にいたします。

STEP 2

PoC（試験導入）

限定された範囲で自動化を実現し、技術的・運用的な課題を洗い出します。

STEP 3

本格導入

自動化を主要機能全体に展開し、開発プロセスに組み込みます。

STEP 4

運用定着・改善

自動化の運用を定着させ、品質データを継続的に改善に生かします。

■トレンド

生成AI (ChatGPT等) を活用し、上流から下流まで生成AIで、品質向上、コスト削減、効率化を図れる

⇒自然言語 (日本語や英語など) で記述されたテスト要件やシナリオから、自動的にテストケースやテストスクリプトを生成が出来るため、誰でもテストスクリプトの作成と実行が可能となる

■ヴェスとしての取り組み

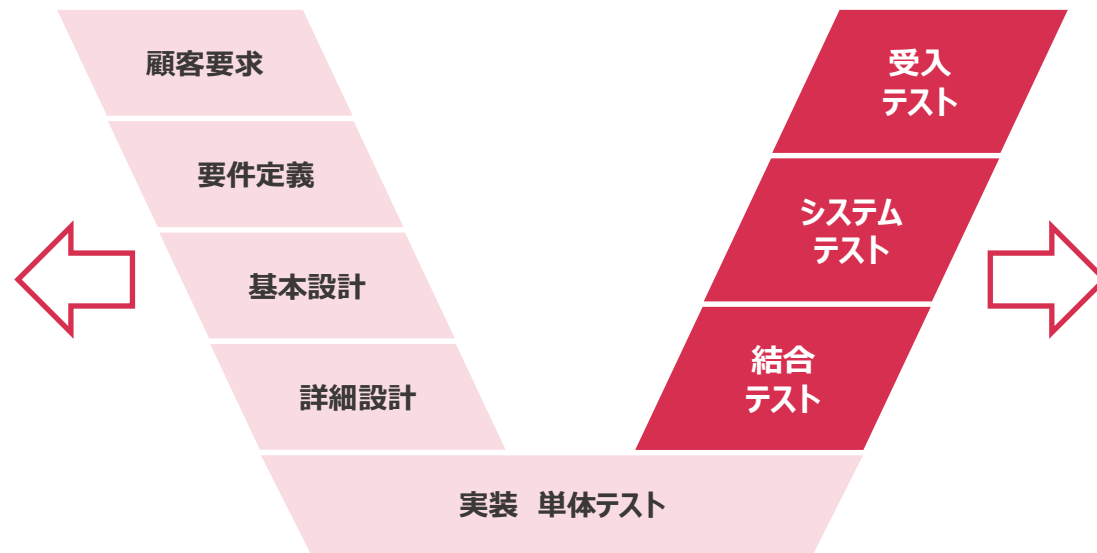
法・規格 (金融法など) に則ったテスト観点を抽出 × 生成AI活用したテスト自動化

■AIノーコード開発プラットフォーム (例: Base44)

ユーザーが「経費精算アプリを作りたい」
「予約管理機能のあるアプリを作りたい」といったリクエストをすると、
画面構成/データベース/認証設定などを自動的に設計し、数時間で動作するパイロット版アプリ構築ができるツール

■主な特徴

- 自然言語操作で開発を自動化し、要件定義から試作まで完結
- 短時間でパイロット構築が可能 (半日以内で動作試作を実現)
- AI連携機能により、ChatGPT・Claude・Geminiなどの外部APIを簡単に統合できる
- 工程の効率化を支援し、設計・試作・レビューを1つの環境で完結させられる



■生成AIの適性を活かし、複数ツールを組み合わせることで自動化を実現

テストケース作成、テスト実行、テスト管理など、それぞれの役割で最適な生成AIを活用し自動化を実現

例:

Appium × MCP × ChatGPT
PlayWrite × MCP × Claude

昨今のトレンド - 生成AI × テスト自動化のイメージ -

昨今のトレンドはテスト自動化のみならず、生成AIを活用した自動化になります。

実際のツール（Playwright×MCP×ChatGPT/Claude）をもとに以下のイメージを実現し、品質向上、コスト削減、効率化を実現しております。



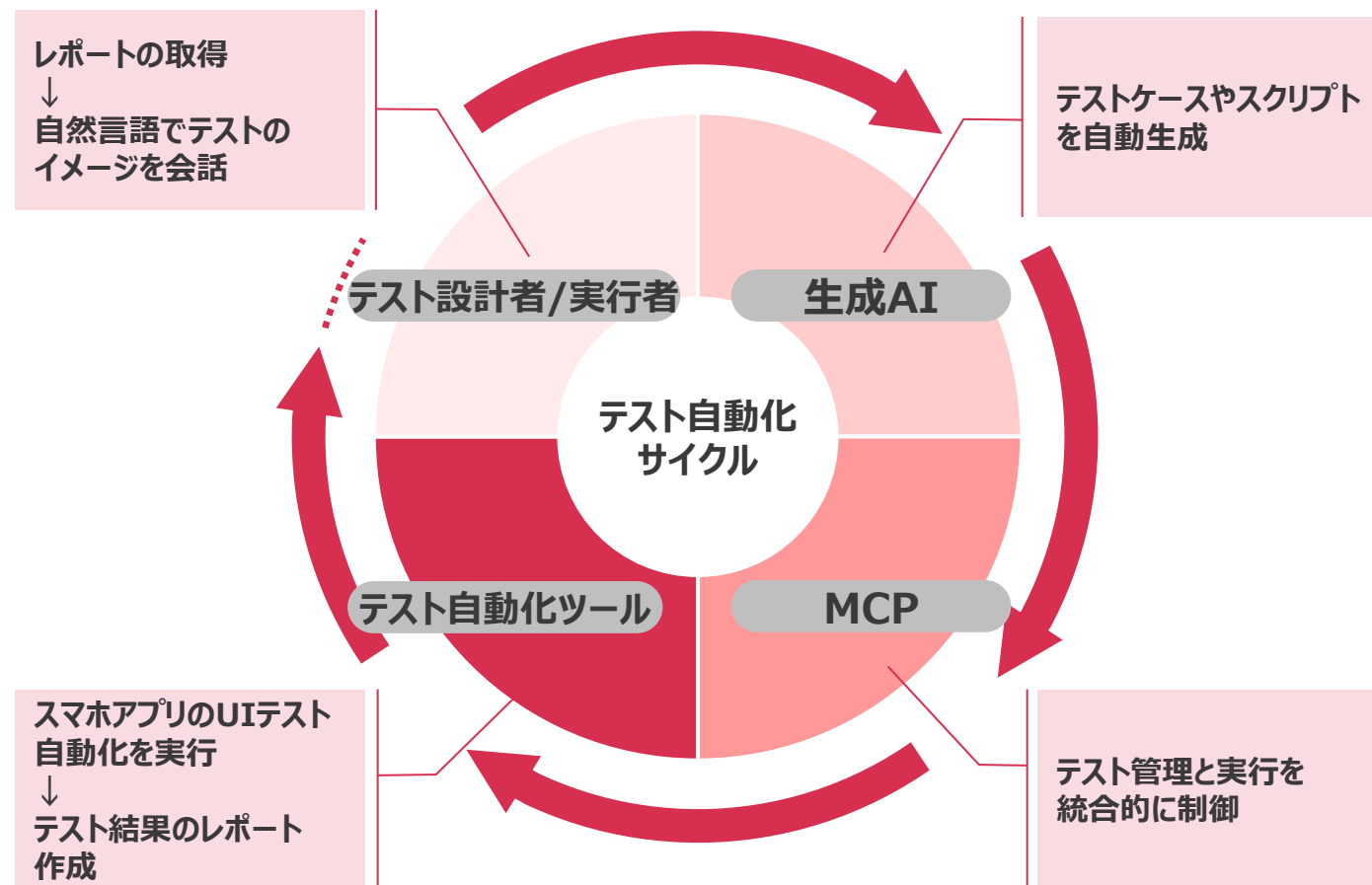
目的

- Webアプリの品質向上と
リリースサイクル短縮のためのテスト自動化推進
- 生成AI（ChatGPT等）を活用し、
テスト設計・実行・運用保守の効率化実現
- 対話型のテスト自動化実装により、**誰でも対応可能**

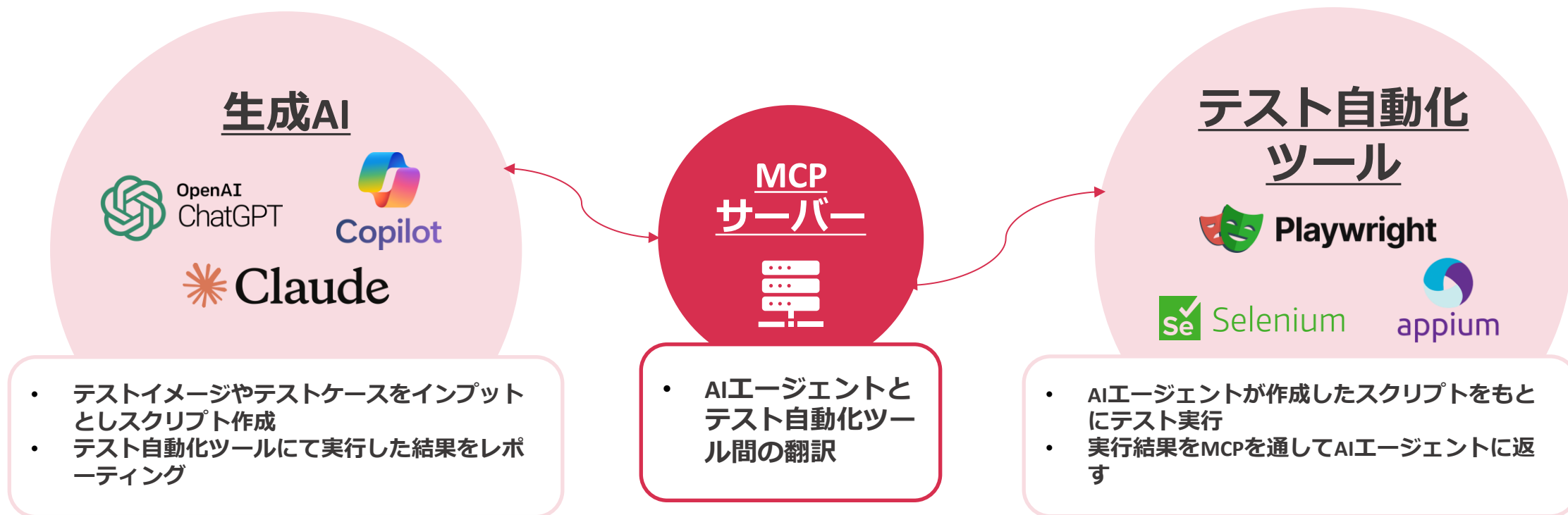


ツールおよび役割

- 生成AI（ChatGPT / Claude）**
テストケース生成・スクリプト自動化支援
自然言語からPlaywright用テストコード
（TypeScript/JavaScript/Python等）を自動生成可能
- MCP（Mobile Center Platform）**
テスト管理・実行オーケストレーション
CI/CDと連携し、**テストの自動実行・管理も容易**
- テスト自動化ツール（Playwright）**
Webアプリの**UI自動テスト実行に特化**したツール
※Appiumのようなモバイルネイティブアプリの自動化は対象外



昨今のトレンドはテスト自動化のみならず、生成AIを活用した自動化になります。実際のシステム構成イメージは以下となります。



MCPの仕組みと構成

コンポーネント	役割
MCP Client (ホスト)	AIを動かす環境。ChatGPT、VSCode拡張、CLIなどが該当
MCP Server (ツール側)	実際に操作する対象。Playwright、Git、DB、ファイルなど

非機能検証としては以下3件をメインにサービス展開しております。本領域は専門性が高いものが多いため、弊社グループ会社やビジネスパートナー様と共にご支援を実施いたします。

Webアプリケーション 脆弱性診断



リリース前診断により現状のセキュリティレベルの把握とリリース後のセキュリティ被害を未然に防ぐ



ツールによる
自動診断で脆弱性の
広範囲な自動検出



専門家による
手動診断で複雑な脆
弱性を網羅的に検出

パフォーマンス診断

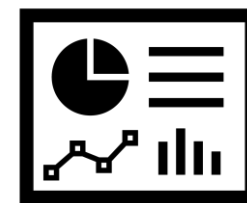


性能要件に対するボトルネックを調査し、DBサーバを含むシステム性能の詳細を分析



専門家による診断を行い
アクセス集中などによる
サーバトラブルを未然に防ぐ

UI/UX 改善



ユーザビリティ観点からUI/UXの向上を図り、顧客満足度向上を目指す



事前に整合をとったペルソナ
をもとに機能性、操作性の改
善策を提示

主なサービスラインナップ



サービスラインナップの一覧となります。

ソフトウェア・Web検証	組込みソフトウェア検証	上流工程	非機能検証サービス
ソフトウェア検証サービス 客観的な視点で、ソフトウェアの検証と評価を行うことにより、見落としがちな問題点を確実に見つけ出します。	組込み検証サービス ネットワーク化、複雑化した組込み機器の検証を経験豊富なエンジニアが支援します。	アジャイル開発検証サービス スクラム開発を中心としたアジャイル開発における品質管理の課題を「2.5者検証」で解決します。	システム性能検証サービス 性能要件に対するボトルネックを調査し、DBサーバを含むシステム性能の詳細を分析します。
業務アプリケーション検証サービス 運用後の不具合発生を抑え顧客満足度向上と開発コスト効率化に貢献しアプリケーションを高品質に導きます。	医療系ソフトウェア検証サービス ビジネス拡大のために医療系ソフトウェア開発における様々な課題を第三者検証サービスで解決します。	上流工程検証サービス 品質を作り込むために、上流工程に第三者検証を導入して品質を向上させます。	Webセキュリティ検証サービス Webシステムを安全で快適なものにするため、専門の検証技術者が徹底サポートします。
スマートフォン検証サービス 蓄積された豊富なナレッジを活用することで高品質、効率的なスマートフォン検証を実現します。	IoT検証サービス IoT製品の品質課題について、組込みからWebまでトータルで支えるヴェスなら解決できます。	コンサルティングサービス 検証会社のノウハウで第三者検証視点から現状を分析し品質や生産性を改善します。	拠点活用
Web検証サービス スピード重視の開発でも高い品質を担保し検証エンジニアによる高レベルな検証サービスの価値を磨きます。		テスト高度化・効率化	ニアショア検証サービス 岩手の検証センターに所属する検証経験が豊富なエンジニアがテストを担当します。
		テスト自動化サービス 自動化に適したテスト範囲を選定し、プログラムによって自動化し、着実なテストを支援します。	

サービス名	サービス概要	目的/効果
Webアプリケーション脆弱性診断	ハッカーの手法を用いて、不正アクセスに対してWebサイトが防御すべき点を検出します	Webアプリケーションに潜む脆弱性の検出
ネットワーク脆弱性診断	ネットワーク、サーバ、OSのほか、ファイアウォールやIPS/IDSといったセキュリティ機器も対象に診断を行います	ネットワーク機器やOS、ミドルウェア等の脆弱性の検出
ソースコード診断	アプリケーションに潜在するセキュリティ上および品質上の問題をソースコードレベルで検査します	開発の上流工程で対策して手戻り対応工数を削減
スマホアプリ診断	特有のリスクを抱えるスマホアプリ自体の脆弱性洗い出しのほか、サーバとの通信を診断するメニューもあります	リリース前スマホアプリの安全性を確認
ペネトレーションテスト	具体的かつ多様なシナリオを用いた疑似攻撃を行い、リスク評価・脅威評価や報告をします	現状のセキュリティ対策の有効性を確認
AI/LLM診断	AIシステムのセキュリティ上のリスクを洗い出します。プロンプトの悪用やユースケースごとのリスクシナリオを洗い出し検証を行います	AIシステムのシステムに潜むリスクを洗い出し、安全・安心な運用を実現するための具体的な対策確認。
IoT脆弱性診断	対象デバイス固有の機能を利用して、攻撃者が攻撃に有益な不正操作、情報窃取、踏み台化が行えるか検査します	様々な種類の製品があるIoT機器に存在する脆弱性の検出
クラウドセキュリティ設定診断	AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platform、Oracle Cloud固有のベンチマーク指標および弊社独自観点で設定内容を確認します	クラウド設定不備によるセキュリティ事故の予防

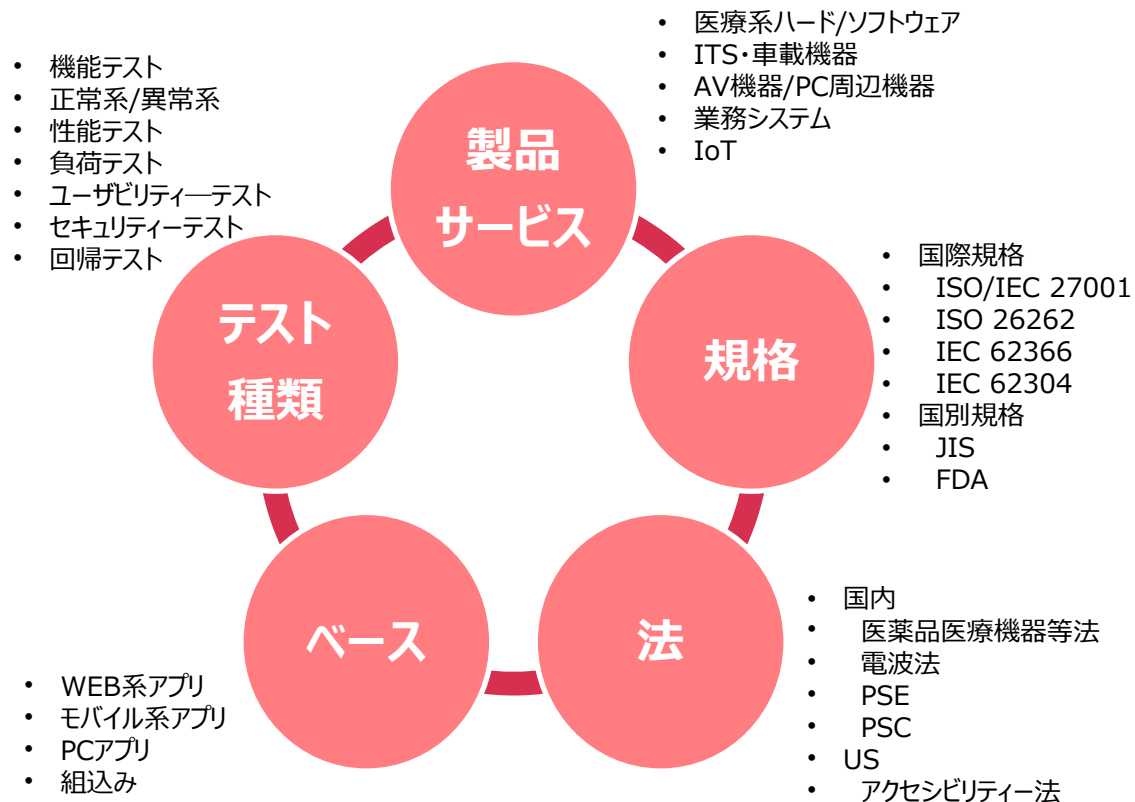


ソフトウェア検証 事業詳細

20年間さまざまな業種や製品の検証を行うことで豊富な経験と実績を得ることができました。規格や法律を厳密に遵守して信頼性の高い支援を行い、お客様のニーズに応じた最適な検証手法を提供することで更なるビジネスの成長をサポートいたします。

VES Verification Categorize Chart (検証分類チャート)

様々なお客様先の検証を行ってきたヴェスのテストカテゴリ別テスト観点やノウハウが詰まったフォームの数々を惜しみなく提供することで、お客様の検証資産としてご活用いただくことができます。

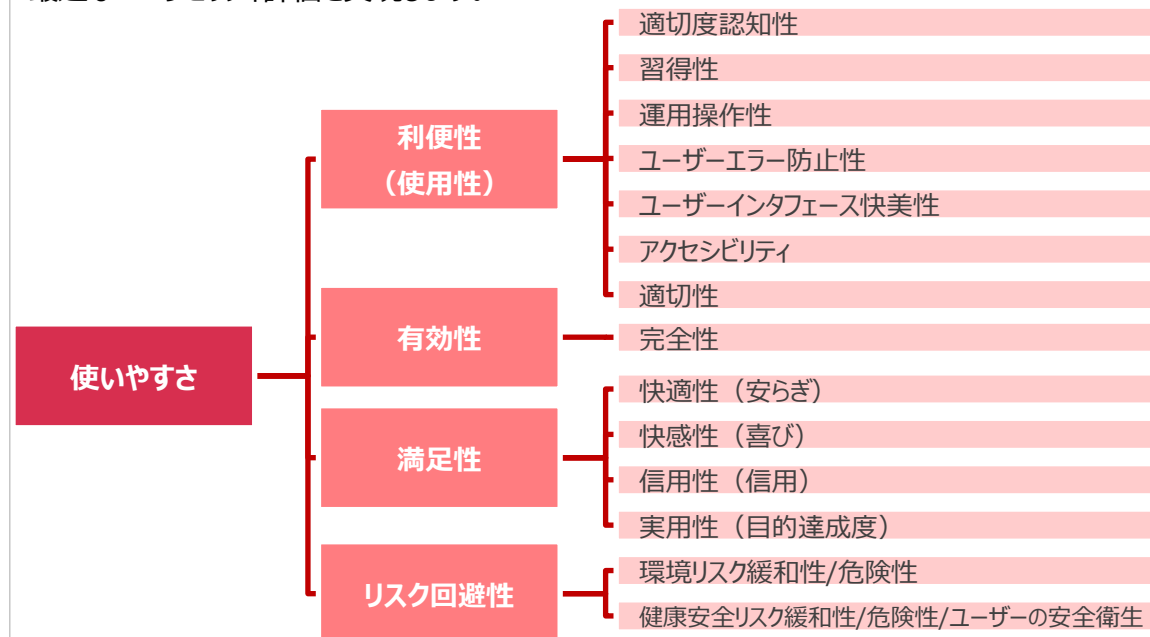


ユーザビリティの観点を踏まえた検証

ヴェスでは長年自社で研究を重ねてきたユーザビリティ観点を第三者検証サービスに加えることで「機能が正しく動くか」のテスト視点に加え、「ユーザーの要求を満たしているか」の検証を行います。

体系図 (ユーザビリティ観点ツリー)

観点ツリーは、製品の「使いやすさ」の特性を洗い出すためのツールです。この観点に、ユーザビリティ評価の各テスト手法を紐づけており、お客様からのご要望に合わせた、最適なユーザビリティ評価を実現します。



※ISO/IEC25010をベースにISO13407やISO18529など各規格の要素を取り入れています。

検証は弊社が保有しているデバイスやツールを使用して実施することやお客様の製品をお持ち帰りして実施することも可能です。各拠点ともに厳重にセキュリティを設けておりますので、機密性を担保したうえで検証を実施しております。

保有デバイス

350種以上の端末（スマートフォン、タブレット）を保有しており、その端末を使用しての検証ができます。



業務品質

各拠点には常にエンジニアが出勤しており、テスト実行管理者とテスターのスムーズなコミュニケーションで、高い業務品質と確実な納期の順守が可能です。



セキュリティ

滝沢ソフトウェア検証センターは共用部、居室ともに万全のセキュリティを配しておりセキュリティカードおよび暗証番号での入退室を行い、一部共用部には監視カメラを設置しています。



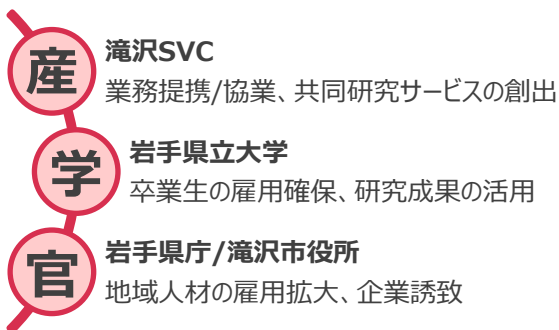
活動

ソフトウェアテストシンポジウムの実行委員として参画し、テスト普及の活動を推進しております。
JaSST Tohokuの**ゴールドスポンサー協賛企業**で'23は実行委員長を務めておりました。



研究

産学官と連携を行い、更なる品質向上を目指して活動を行っております。

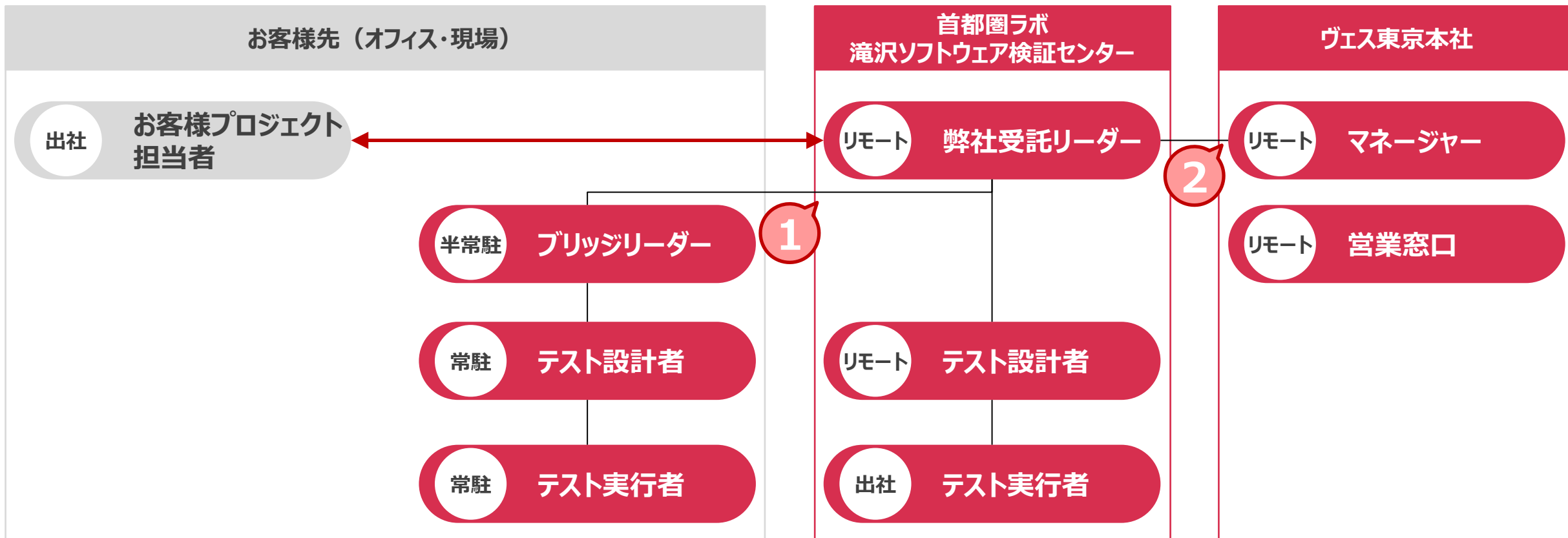


拠点規模

拠点名称	居室面積	収容人数
滝沢ソフトウェア検証センター	243.4㎡	80名
首都圏ソフトウェア検証センター	137.1㎡	約30名

※見学の御用命はお気軽にお申し付けください

御支援の体制はお客様の目的達成に向けて最適な座組で推進させていただきます。常駐（半常駐）、持ち帰り、リモート対応等も含めて経験豊富なマネージャー陣が円滑にコミュニケーションを取り、トータルでサポートいたします。



● Point 1 開発側とのコミュニケーション

お客様常駐先（開発現場により近い位置）に、ブリッジ役を行うリーダーを配置することで、ニアショアでの御支援時に開発側とスムーズな連携を図ります。

● Point 2 受託リーダーのサポート体制

受託リーダーをはじめプロジェクト全体の推進をサポートするマネージャーが控えており、定点観測を行いながらプロジェクト全体のアプローチに対するアドバイザーを実施します。

凡例

就業環境 お客様の役割

提供方法 弊社の役割

エンジニア力向上の取り組み

ソフトウェア検証の技術に直結するIVECとJSTQBの資格取得を推進しており、エンジニアの7割以上がいずれかの資格を保有しております。技術向上の追究を日常的に実施しており、研究会活動を経て、お客様に役立つソリューションに昇華させる営み行っております。

ソフトウェアテスト資格取得の推進

ソフトウェアテストの技術品質向上を図るため、業務に活用できる資格の取得を進めております。ご支援時にはお客様の課題感に沿った適切な有資格者をアサインさせていただきます。

IVEC (IT検証技術者認定試験) パートナーランク：プラチナ (国内初)



「テストエンジニア」に必要とされる知識、実務経験、スキルを認定する資格です。

保有資格 人数

IVEC アーキテクト(旧L5)	14名
IVEC デザイナー(旧L3、L4)	43名
IVEC テスター(旧L1、L2)	52名

キャリアレベルごとに試験を行うことで、テストエンジニアの力量を客観的に評価・比較することができます。

JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board) パートナーランク：プラチナ (最上位)



ISTQBが提供するテストエンジニアのための国際認定資格です。

保有資格 人数

Advanced Level (テストアナリスト)	3名
Advanced Level (テストマネージャー)	2名
Foundation Level	44名
JSTQB Specialist 自動車ソフトウェアテスト担当者	1名

JSTQBはISTQBの加盟組織であり、資格認定の相互認証を行っています。

JCSQE (ソフトウェア品質技術者資格認定)

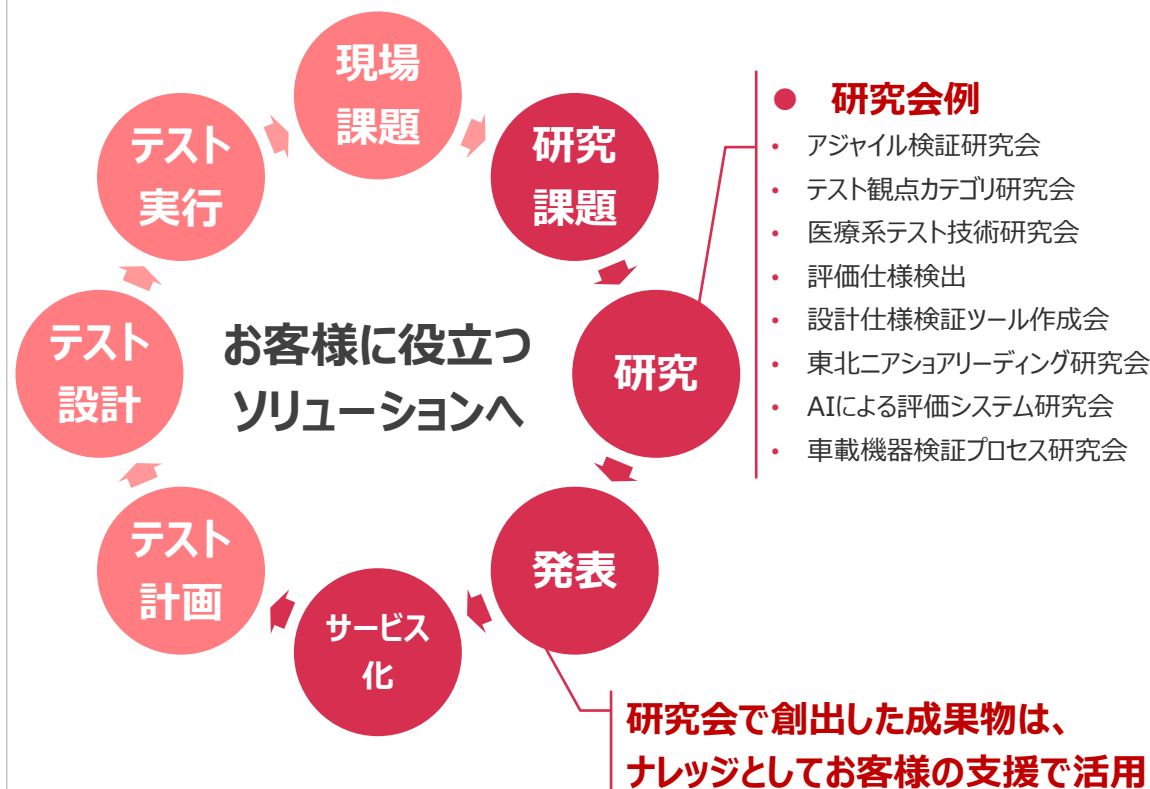
“ソフトウェア品質力”が日本科学技術連盟から認定される資格制度です。

保有資格 人数

JCSQE 初級	3名
----------	----

研究会活動の実施

より良いサービス・組織作りに向けて、社員が自発的に課題解決に取り組む「研究会」を実施しています。ここから新しいサービスも生まれ、ソリューション開発へ反映しています。



独自のエンジニアランクを導入しており、より良いサービスの御提供ができるよう、エンジニア本人のキャリアプランを見据えながら教育、フォロー体制を確立しております。基本的には準委任契約（履行割合型）で2名以上/月の御提供となります。

ランク名称	業務範囲	対象サービス
PMO	プロジェクト全体の統括管理を行い、リスク管理や標準化などを実施	品質 コンサルティング
QMO	プロジェクト全体の品質基準・テスト方針の策定などを実施	
プロジェクトマネージャー	プロジェクトの要件、スコープ、体制等の全体管理を実施	
テストマネージャー	テスト計画策定以降やプロジェクト管理を実施	ソフトウェア 検証
テストリーダー	テスト基本設計以降や小規模体制の管理を実施	
テストデザイナー	テスト設計以降を実施	
テストオペレーター	テスト実行や不具合報告を実施	

ランク名称	業務範囲	対象サービス
自動化マネージャー	要求分析やPoC計画策定などを実施	テスト自動化
自動化リーダー	プロジェクト管理を実施	
自動化デザイナー	アーキテクチャ設計以降を実施	
自動化スクリプター	スクリプト作成を実施	非機能 セキュリティ
セキュリティコンサル	要求分析や全体計画・方針策定を実施	
スペシャリスト	各スペシャリストによる診断を実施	

分野別に分けて大きくオープン系、アプリで5割、組込み制御系5割の実績となっております。主要のクラウドサービスは、EC系・決済系・予約システムで、組込み制御系では医療機器や車載機器の実績もございます。幅広い業種や多種多様の製品のソフトウェア検証の経験を有しております。

その他

車載機器

スマホアプリ

- 無線ルーター
- ポイント系



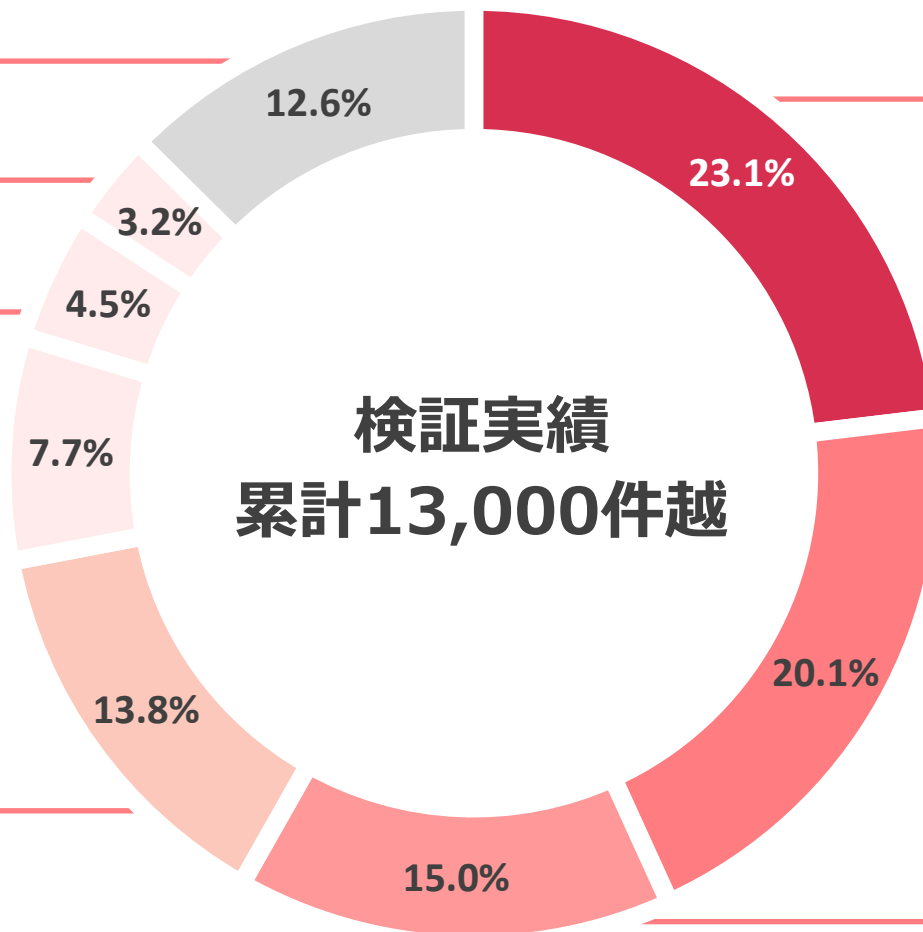
エンターテインメント

- 家庭用ゲーム機



エンタープライズ

- 販売管理システム
- 基幹システム



クラウドサービス



- EC系
- 決済系
- 予約システム

計測・分析機器



- 顕微鏡
- 分析計
- 測量装置
- 流量計

医療機器



- 分析装置
- エコー装置



第三者検証 事例紹介

事例 計測機器 - 組み込みソフトウェア検証

各種計測機器における事例になります。

課題	<ul style="list-style-type: none"> 開発者が検証業務を行っているので、検証業務における先方体制が確立されていない 上記体制の影響で、リソースがひっ迫しており検証業務に適切なリソースがあてられない
解決策	<ul style="list-style-type: none"> 弊社プロパーメンバーを中心に、テスト計画、テスト設計、テスト実行までを行える体制設ける クライアント協力のもと、キャッチアップを行い製品への知見を高める
成果	<ul style="list-style-type: none"> 検証業務の中で、先方が発見できなかった不具合を検出できた。 中長期的に協業を実施していくうえで、両社間の役割が明確になり開発工程の効率および品質が向上した。

ステップ	キャッチアップ	テスト設計	テスト実行	完了報告
目的	対象機能の概要・内容およびテストスコープを理解する	顧客要求の分析を行い、必要なテスト観点をテストケースに落とし込む	テスト仕様書のテスト項目を実行し、不具合を検出する	テスト結果および対象機能の品質について共有し、PJのふりかえりを行う
インプット情報	<ul style="list-style-type: none"> 顧客要求仕様書 ベース機種のテスト仕様書 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客要求仕様書 テスト計画書 	<ul style="list-style-type: none"> テスト仕様書 	<ul style="list-style-type: none"> テスト実行結果 QAリスト/不具合リスト
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> 体制：管理者：1名 設計者：2名 実行者：2名 実施内容：顧客要求仕様書やベース機種のテスト仕様書からテスト計画を行う。 成果物：テスト計画書、WBS 	<ul style="list-style-type: none"> 体制：管理者：1名 設計者：2名 実行者：2名 実施内容：テスト対象機能に対する要求分析を行い、テスト計画書で定義したテスト要件を実現するためのテスト仕様書を作成する。 成果物：テスト仕様書 	<ul style="list-style-type: none"> 体制：管理者：1名 設計者：2名 実行者：2名 実施内容：テスト仕様書に実装されたテスト項目を実行者が実行し、不具合報告を行う。 成果物：テスト実行結果 不具合リスト 	<ul style="list-style-type: none"> 体制：管理者：1名 設計者：2名 実行者：2名 実施内容：テストイベントの完了都度、テスト実行結果や課題を整理して報告を行う。 成果物：テスト実施報告書

事例 設計ツール 2D-CAD製品 - 機能検証

設計支援ツールの2D-CAD製品における事例になります。

依頼した背景

- 現在のご担当者様のお声
- 以前の製品から引き継がれた前任者の方が検証会社を紹介してくださり、弊社の資料を見たところしっかりしており信頼できたため引き続き依頼していただいた
 - CAD製品のテストは比較的獨特で知見が必要な製品であるため、次回依頼時も前任者のアサインや社内での十分な情報共有に柔軟に対応したところ



解決策

- リリース前の製品を一通りテストを実施させていただく



依頼して感じたメリット

- 継続して前任者のアサインや社内での情報共有が柔軟にできること
- ヴェス社内での教育がしっかりしているため担当者ごとのブレがないこと
- 大きめの不具合がほとんど出なくなったこと

ステップ	キャッチアップ	テスト設計	テスト実行	完了報告
目的	<ul style="list-style-type: none"> • 製品概要と作業内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> Input資料の機能概要より確認項目、テスト要素、水準を整理して検証項目一覧を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計で作成したテスト項目を実施し、品質レベルを判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> 製品把握～テスト設計～テスト実行までの結果（PJ振り返り）を行う。
インプット情報	<ul style="list-style-type: none"> • 製品仕様書 • 取扱説明書 	<ul style="list-style-type: none"> • 製品仕様書 • 取扱説明書 	<ul style="list-style-type: none"> • 検証項目リスト 	<ul style="list-style-type: none"> • テスト設計書 • QAリスト／不具合リスト
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> • 体制：設計者：1名 実行者：1名 • 期間：0.2人月 • 実施内容：製品仕様書及び取扱説明書から、製品概要を理解し、テスト方針を決定させる。 • 成果物：テスト設計、実行書のフォーマット 	<ul style="list-style-type: none"> • 体制：設計者：1名 実行者：1名 • 期間：0.6人月 • 実施内容：基本設計で作成した検証項目一覧からテストケースに落とし込む。 • 成果物：テスト設計書 検証項目リスト 	<ul style="list-style-type: none"> • 体制：設計者：1名 実行者：1名 • 期間：0.6人月 • 実施内容：検証項目リストに沿って、テストを実行する。 • 成果物：テスト実行結果 不具合リスト 	<ul style="list-style-type: none"> • 体制：設計者：1名 実行者：1名 • 期間：0.1人月 • 実施内容：PJ全体の振り返りを行い、結果を報告書にまとめる。 • 成果物：検証結果報告書

事例① 車載メータ製品 - 組み込みソフトウェア検証

計器・センサーメーカーの車載メータ製品における事例になります。

課題	<ul style="list-style-type: none"> 東北拠点における開発業務の拡大に伴い、開発から検証までワンストップ対応できる体制を構築したい
解決策	<ul style="list-style-type: none"> 価格優位性のあるヴェス滝沢拠点のプロパーを中心に、地場企業とのパートナーシップのもと岩手エリアで10名規模のテストエンジニア調達を実施 クライアント協力のもと、車載メータの一部機能を対象としたテスト設計～実行のOJTを実施
成果	<ul style="list-style-type: none"> 車載メータ製品のテスト設計、およびテスト実行に対する知見を強化。また一部機能にて既存テストチームが発見できなかった不具合を検出できた。 常時10名規模のテストリソースが確保でき、長期的に協業を実施していくうえでのメンバーの育成・調達に関する枠組みを作ることができた。

ステップ	キャッチアップ	テスト設計	テスト実行	完了報告
目的	対象機能の概要・内容およびテストスコープを理解する	顧客要求の分析を行い、必要なテスト観点をテストケースに落とし込む	テスト仕様書のテスト項目を実行し、不具合を検出する	テスト結果および対象機能の品質について共有し、PJのふりかえりを行う
インプット情報	<ul style="list-style-type: none"> 顧客要求仕様書 ベース機種のテスト仕様書 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客要求仕様書 テスト計画書 	<ul style="list-style-type: none"> テスト仕様書 	<ul style="list-style-type: none"> テスト実行結果 QAリスト/不具合リスト
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> 体制：管理者：2名 設計者：2名 実行者：6名 実施内容：顧客要求仕様書やベース機種のテスト仕様書からテスト計画を行う。 成果物：テスト計画書、WBS 	<ul style="list-style-type: none"> 体制：管理者：2名 設計者：2名 実行者：6名 実施内容：テスト対象機能に対する要求分析を行い、テスト計画書で定義したテスト要件を実現するためのテスト仕様書を作成する。 成果物：テスト仕様書 	<ul style="list-style-type: none"> 体制：管理者：2名 設計者：2名 実行者：6名 実施内容：テスト仕様書に実装されたテスト項目を実行者が実行し、不具合報告を行う。 成果物：テスト実行結果 不具合リスト 	<ul style="list-style-type: none"> 体制：管理者：2名 設計者：2名 実行者：6名 実施内容：テストイベントの完了都度、テスト実行結果や課題を整理して報告を行う。 成果物：テスト実施報告書

事例② Webテスト 化粧品販売サイトの第三者検証及び自動化



化粧品販売サイトのWebテスト実施と自動化における事例になります。

お客様の課題

- 社内に検証部署があるがリソース不足
- テストケースが属人的で未整備
- 限られた期間で出来るリグレッションテストでの品質確認に限界がある



解決策

- VESによるテストエンジニアの提供によりリソース不足を改善
- 第三者の視点でテストケースをメンテナンスし、資産として活用できるように整備
- 自動化と手動の組み合わせで品質確認を効率化



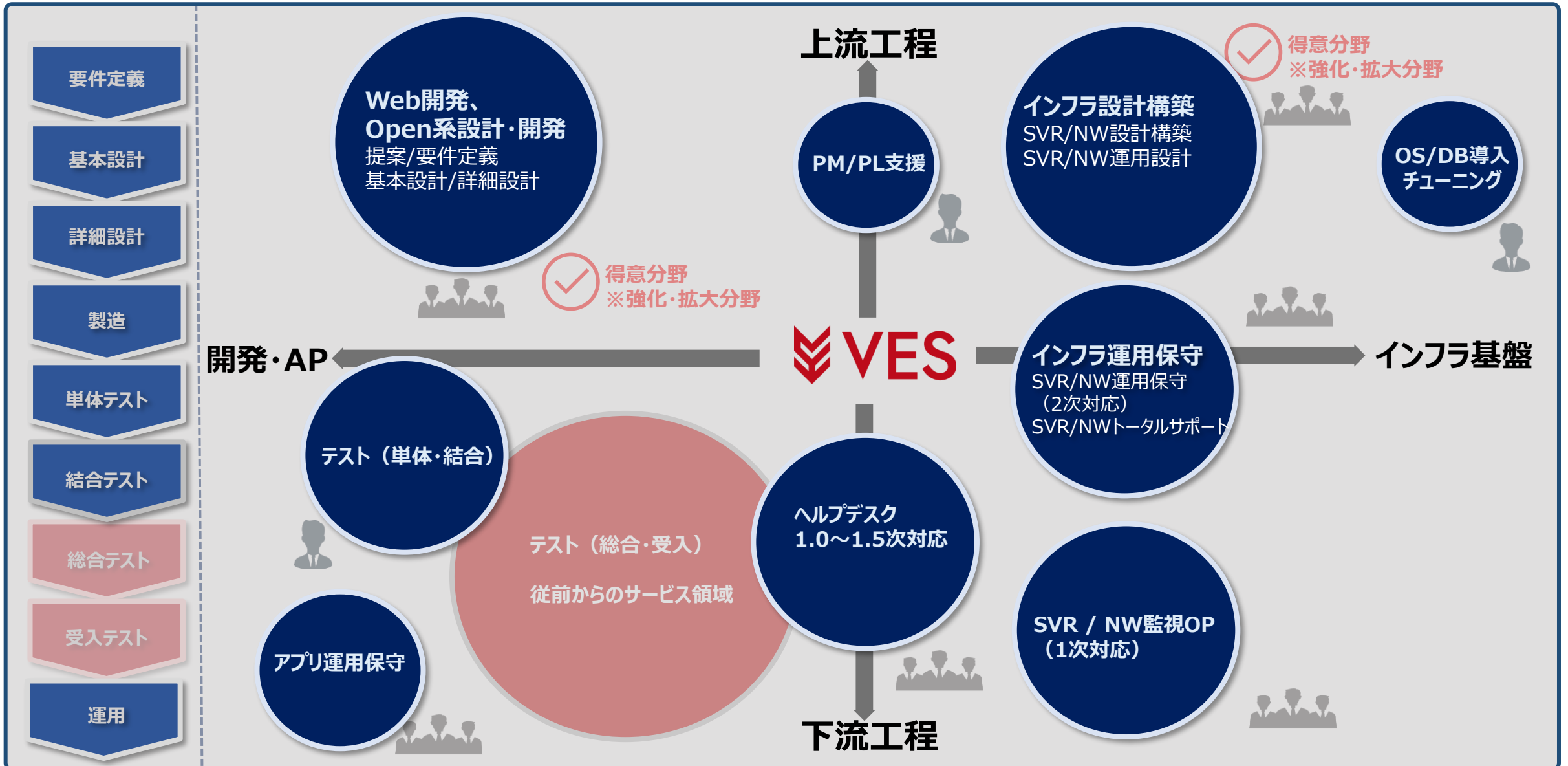
成果

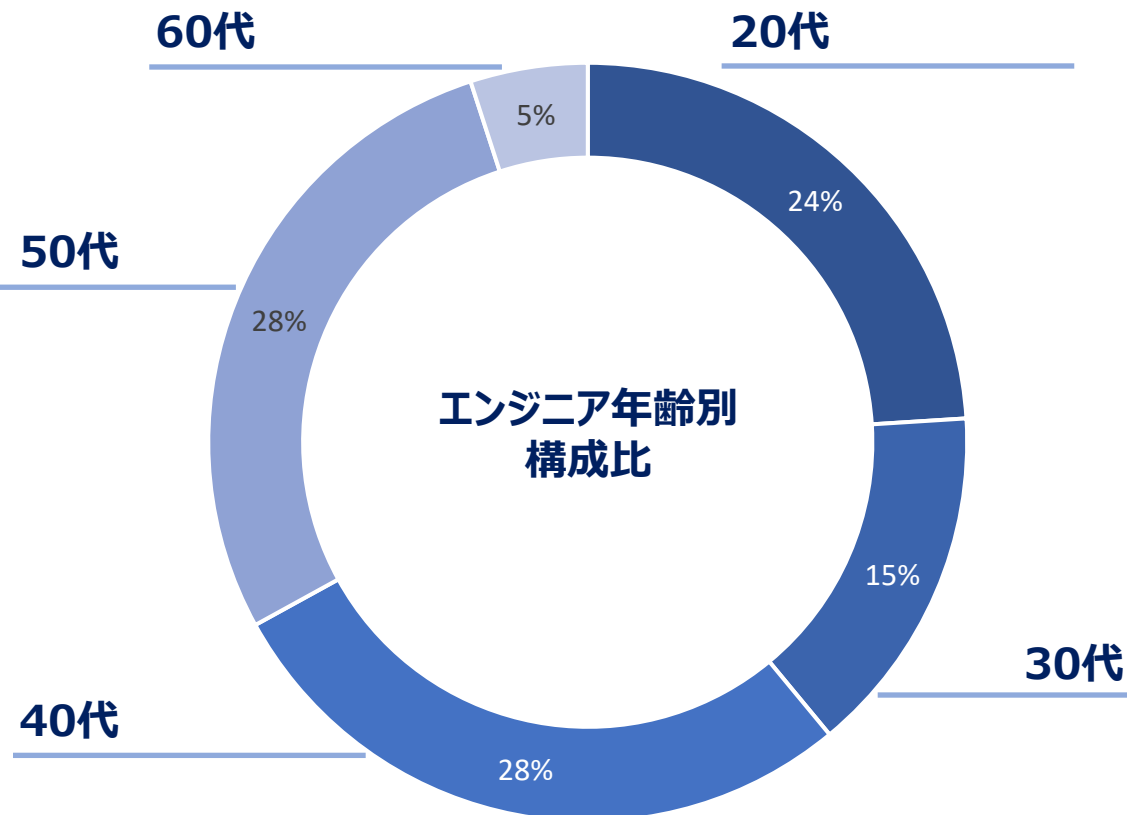
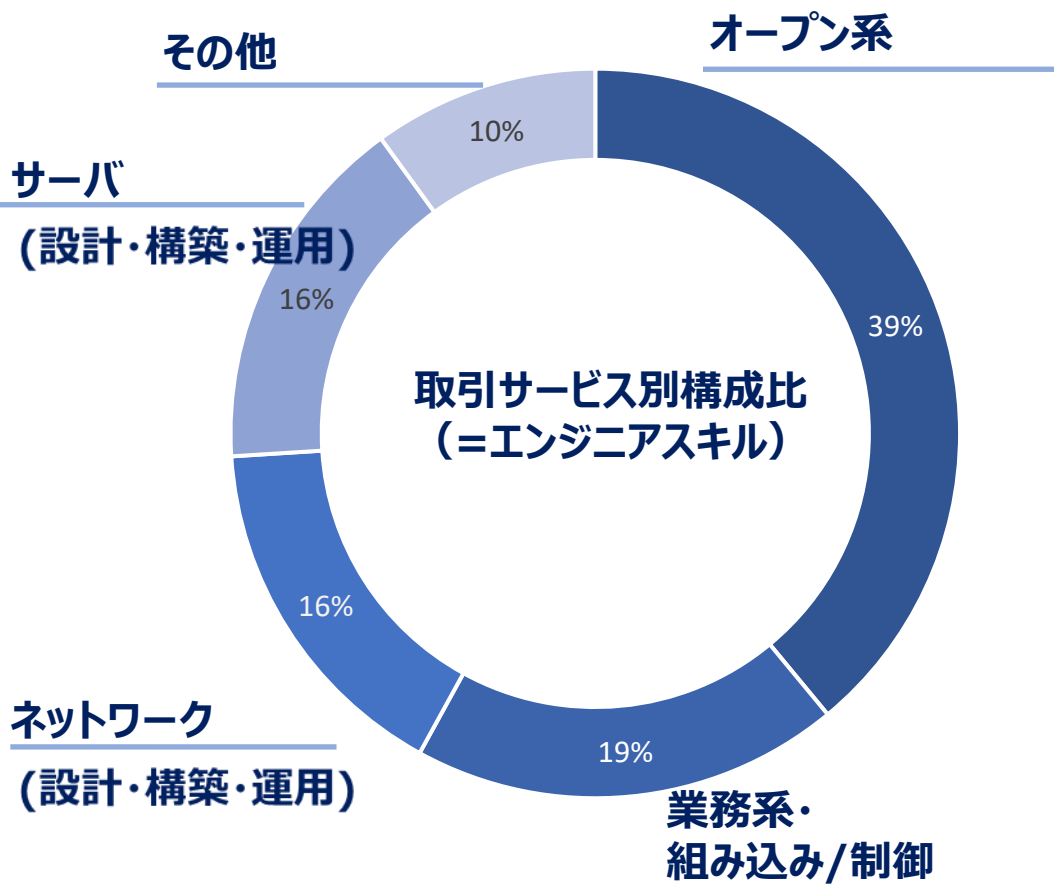
- Selenium(テスト自動化ツール)によりリグレッションテストを中心に約7割の項目を自動化
- 自動化によるテスト実行と、手動によるテスト実行の適正バランスを実現し、高い不具合発見率の維持と、テスト実施スピードの両立を実現

ステップ	キャッチアップ	テスト設計	テスト実行	完了報告
目的	仕様の把握を行い、自動化範囲を調査する。	テストケースの作成、自動化の実装を行う。	作成したテストの実行を行う。	テスト結果の報告を行う。
インプット情報	・仕様書	・仕様書	・テストケース	・テスト結果 ・エビデンス
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> • 体制：リーダー：1名 設計・実行者：1名 • 期間：0.5人月 • 実施内容：仕様を把握し、自動化可能な項目を見積もる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 体制：手動テスト設計：1名 自動化実装：1名 • 期間：2.0人月 • 実施内容：自動化の実装に向けて手順を詳細に作成する。 • 成果物：テストケース（手動、自動）、観点一覧 	<ul style="list-style-type: none"> • 体制：実行者：2名 • 期間：0.2人月 • 実施内容：テスト実行（手動・自動）を行う。 • 成果物：テスト結果、エビデンス 	<ul style="list-style-type: none"> • 体制：リーダー：1名 • 期間：0.1人月 • 実施内容：自動化テストのエビデンスの提出及び報告を行う。 • 成果物：自動化テストのエビデンス



開発・インフラ エンジニアリングサービス







開発・インフラ エンジニアリングサービス 事例紹介

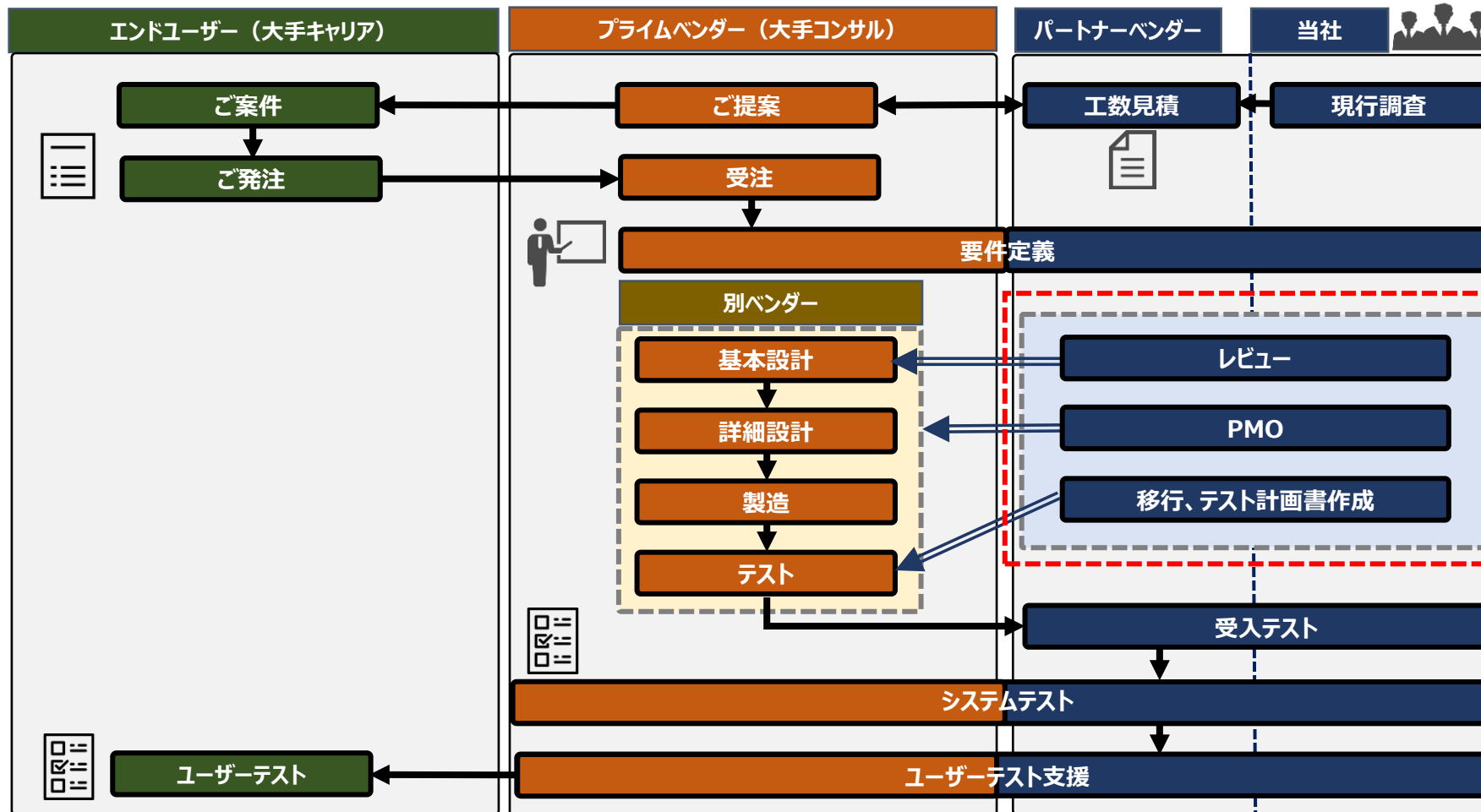
取引事例①：大手クレジットカード企業向けAWS化（開発系）



ポイント

長期案件かつドキュメント作成経験及びクレジットカード業務知識が求められる中、マッチングした人材のアサインによる対応を行った。

■お客様、当社間におけるスキーム



課題及び解決策

- ・クレジットカードシステムの業務知識
- ・プロジェクト遂行/管理
- ・既存システム調査、要件定義書作成支援
- ・基本設計書Review
- ・スキル
 - ・DBの知識（Oracle）
 - ・インフラ知識
 - ・シェル
 - ・ドキュメント作成能力
- ・他社との調整 → 複雑なチーム構成

必要スキル

- ・要件定義書作成支援
- ・基本設計書Review
- ・計画書作成
- ・進捗管理
- ・結合テスト実施
- ・システムテスト支援

取引事例②：サーバ更改業務（インフラ系）

【物理面】

- ・コスト削減による既存物理サーバ統合
※利用頻度の低いサーバのリソース未活用
- ・サーバ老朽化に伴う新サーバへの移行
- ・サーバ格納ラック削減
- ・サーバ占有床面積の削減
- ・老朽化に伴う交換部品調達
- ・サーバ容量不足

目的①

【システム面】

- ・OSの最新化（サポート期限等）
- ・トランザクション処理パフォーマンス向上
※ITツール毎に導入していたCPU、メモリ等のリソース不足

目的②

【コスト面】

- ・物理サーバ削減
- ・月間消費電力削減
- ・運用コスト削減

目的③

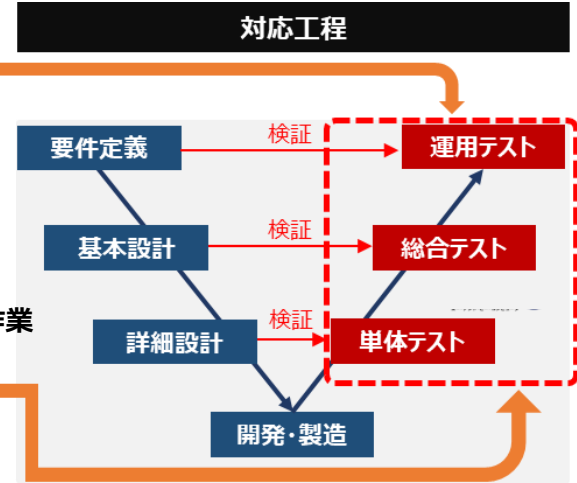
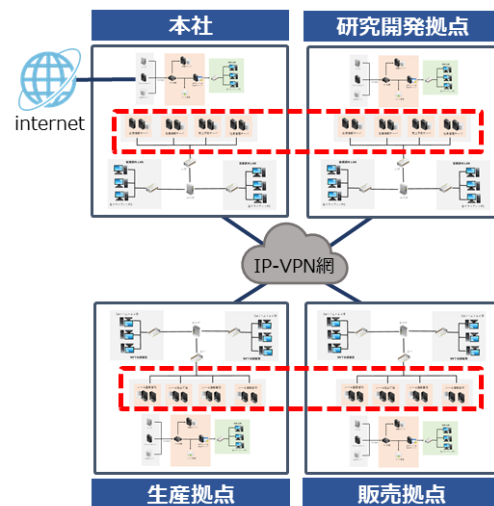
【機能面】

- ・OSの最新化
- ・サーバの新旧入替による機能向上
- ・利用効率化と性能機能運用向上

目的④

更改作業における手順（概要）

①	現状調査及びヒヤリング	現状運用における問題課題要望に関する担当者ヒヤリング
②	システム要件確定	新サーバ必要要件洗い出し及び移行先サーバ構成製品選定
③	予算確保	H/W、OS、S/W、運用、サポートに関するトータルコスト（予算）
④	スケジュール確定	新サーバ導入日、切替日、旧サーバ撤去日の日程確定
⑤	新サーバ構築	H/W、S/W（OS、M/W）設定及びシステム構築
⑥	テスト環境構築	本番環境でのアプリケーション稼働前テスト及び検証
⑦	本番データ移行	既存サーバ利用中データの新サーバへの移行
⑧	並行稼働	旧サーバ及び新サーバの並行運用（リカバリープラン）
⑨	新サーバへの切替	新サーバでの処理が確実に移行されている事を確認後、切替
⑩	運用担当者への引継ぎ	システム維持管理に必要な運用を新サーバ運用担当者へ引継ぐ



ポイント 全テスト工程の遠隔（フルリモート）対応

取引事例③：データセンター監視運用（Tier1）業務（運用系）

業務ミッション

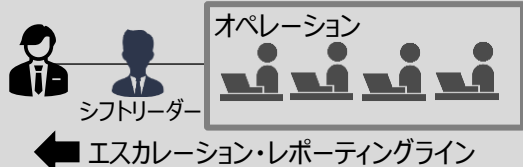
- 監視全般（目視巡回、JOB確認、アラート検知）
- マネージドオペレーション
- 各種レポート
- 取引顧客担当者入館受付誘導

シフトパターン

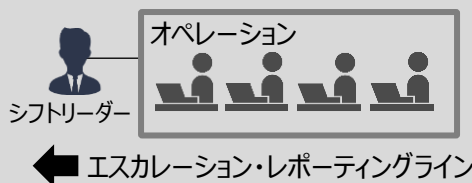
- 日勤1 (09:00～18:00)
- 日勤2 (12:30～21:30)
- 日勤1～2 (09:00～21:30)
- 夜勤1 (21:00～24:00)
- 夜勤2 (24:00～09:30)

体制

■ 日勤（5名）

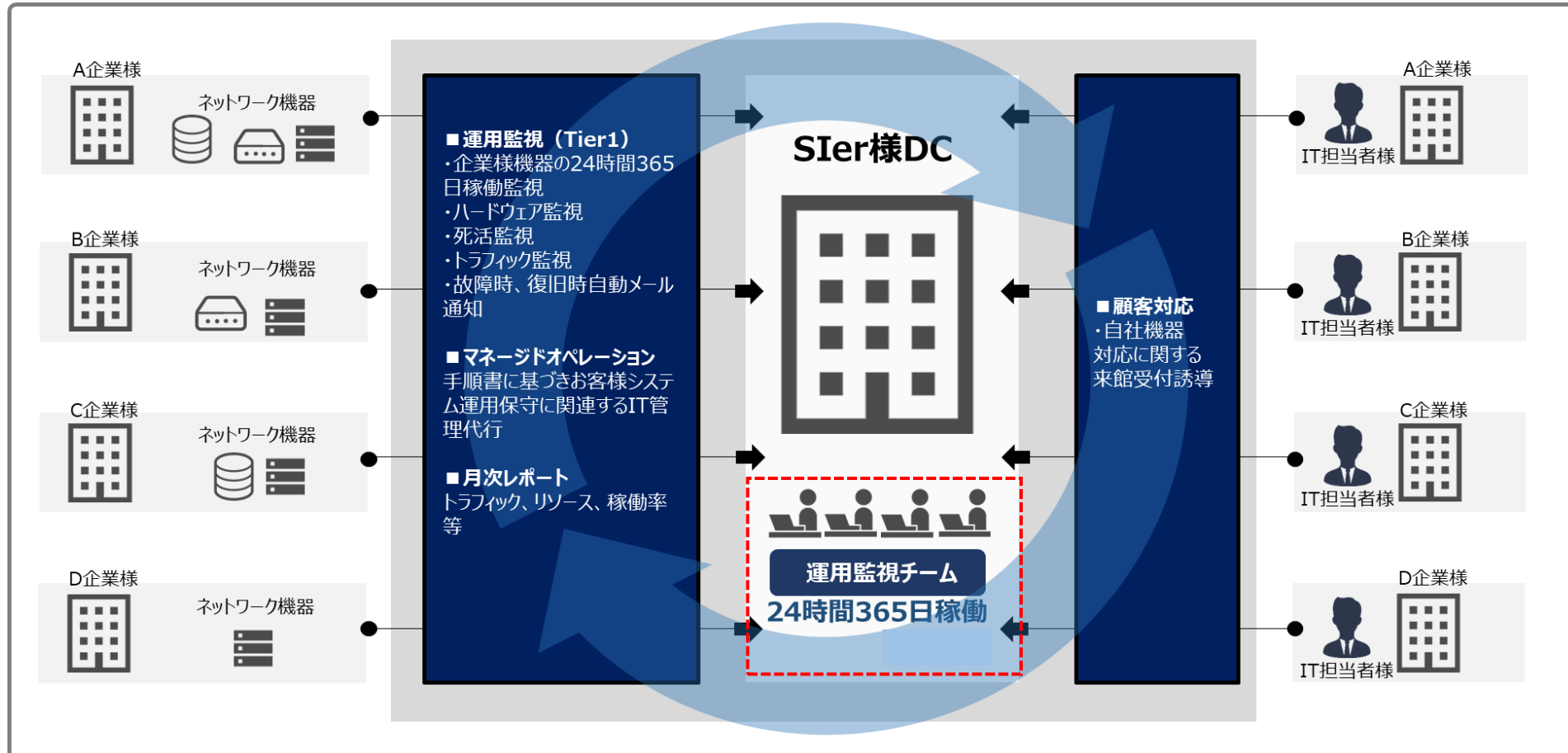


■ 夜勤（5～6名）



ポイント

オペレーションエンジニアの高齢化に伴う一手として当社運用巻取り（若手未経験かつ素養あるエンジニア配置による若返り）

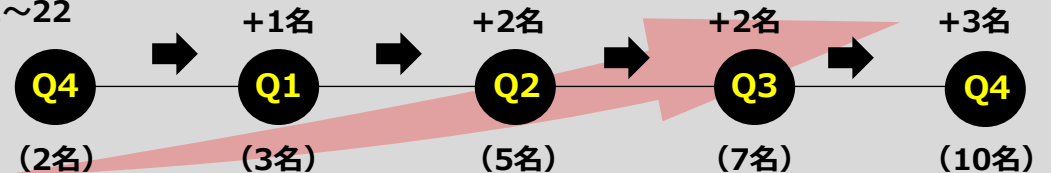


運用課題

- ・オペレーションエンジニアの高齢化
→ 高齢化に伴う運用体力の頭打ちに直面
- 早急な若返りの必要性
- ・オペレーションサービスの継承
→ 継続かつ安定的なサービス実現の必要性

プレミアム

Fy2021～22





グループ会社のご紹介

スキルナビ（スキルマネジメントシステム） のご紹介

スキル管理のDXを通じ、従業員の育成強化やエンゲージメントの向上、
組織の生産性向上まで、まるっとご支援するサービスです

スキルナビで出来ること（一部抜粋）

スキル管理

製造やITスキル管理や補正、評価者のコメント、研修等の紐づけなど
汎用性のあるスキル管理が可能

資格管理

保有資格の管理全般
有効期限管理（アラート機能）や資格証明書
の管理も可能

研修・試験管理

研修・試験結果の管理、
スキルとの連動による研修の
有効性検証などにも対応

スキルナビフォーム

自由なフォーマットを作成し、
業務管理からスキルや経験値との
連動まで、幅広い活用が可能

キャリアモデル

キャリアパスの登録から現在の
スキルや保有資格とのマッチ度の
可視化や適応率が見える

分析・比較

個人、部署、自由なグループでの比較、複
雑な分析まで可能

異動シミュレーション

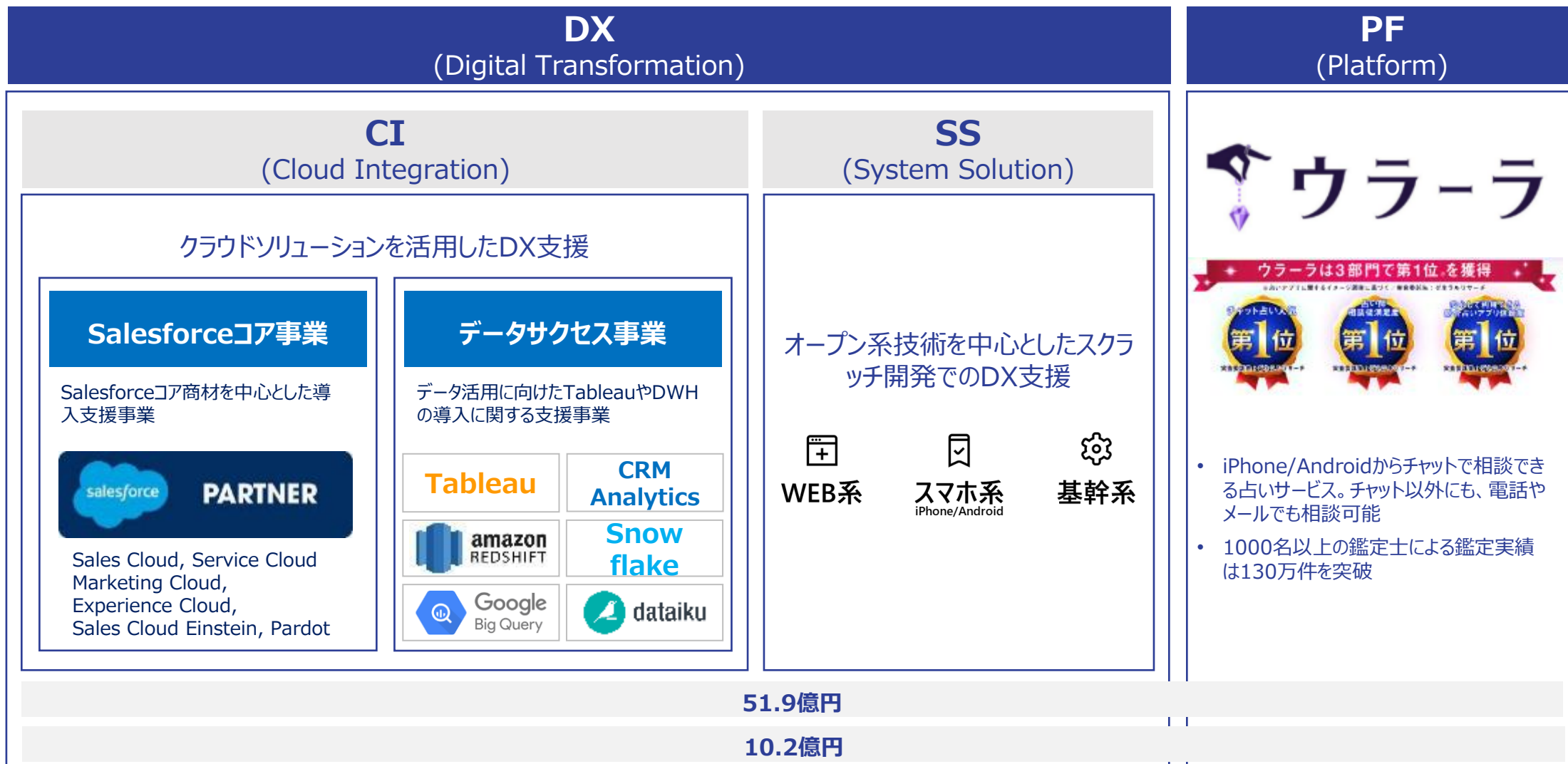
あらゆるパターンのシミュレーションが可能。
技能伝承・多能工化・
力量視点、育成観点等

従業員検索

複雑な要件検索が可能になるため、
業務やプロジェクトアサインでの
活用も

株式会社 Sharing Innovations のご紹介

Cloud Integration事業では、DX中心となるデータ活用をベースとした事業の推進を行っています。隣接する組織にはSystemのスクラッチ開発部隊もあり、クラウドと連携することでクライアント様の要件を実現できる体制としております。

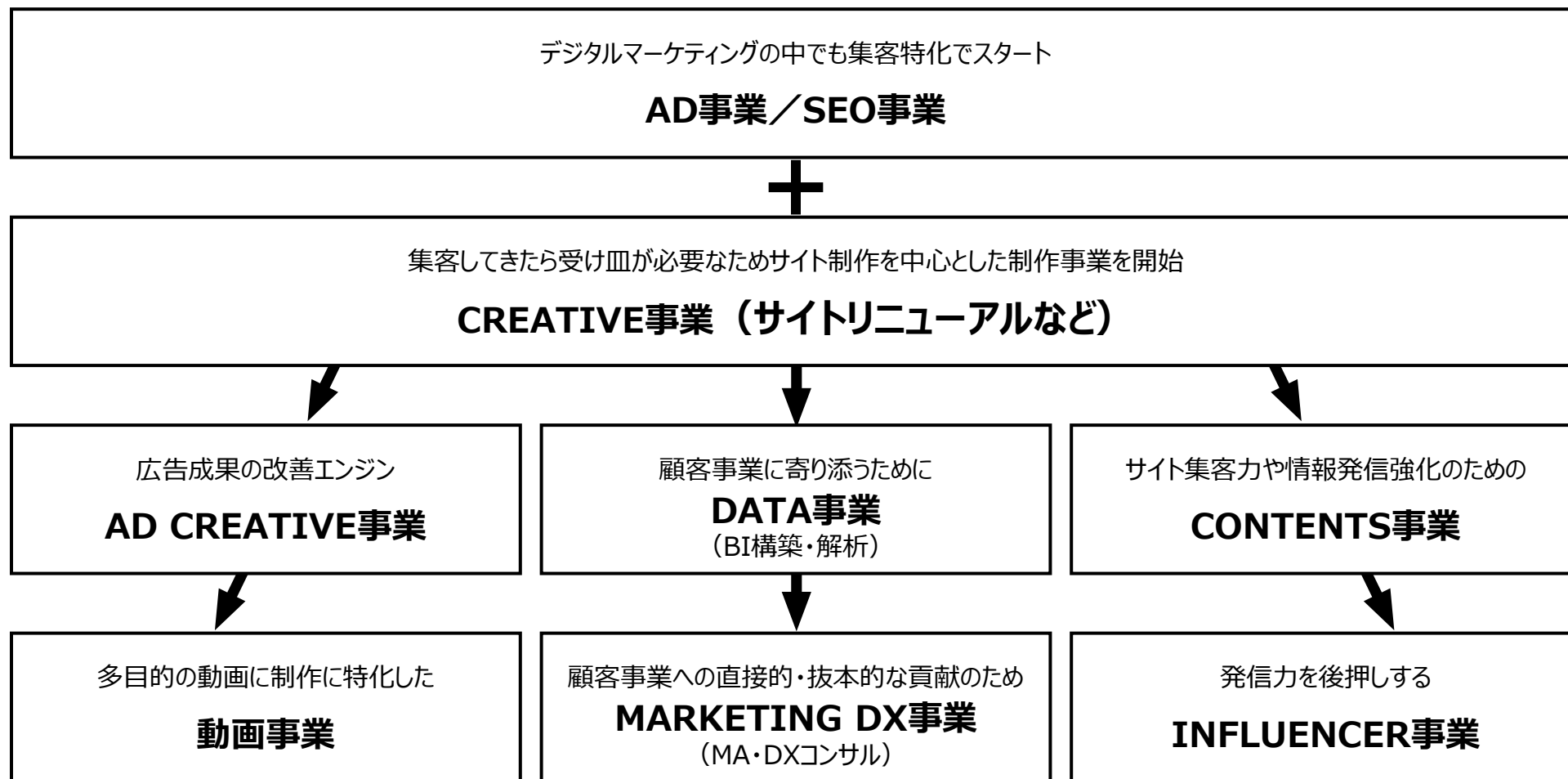


株式会社デジタルアイデンティティ のご紹介

企業名	株式会社デジタルアイデンティティ
設立	2009年
従業員	417名（2024.4時点）
事業	デジタルマーケティング事業 ・ウェブ広告の戦略立案・実行・改善 ・インターネット広告代理事業 ・ウェブサイトの企画・設計・制作・構築 ・インターネットメディア事業
TOKYO	〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-15-1 A-PLACE恵比寿南5F
FUKUOKA	〒810-0001 福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル13F
HOKKAIDO	〒060-0042 札幌市中央区大通西4-6-1 札幌大通西4ビル3F



デジタルの集客からはじまり、端から端までを狙って拡充



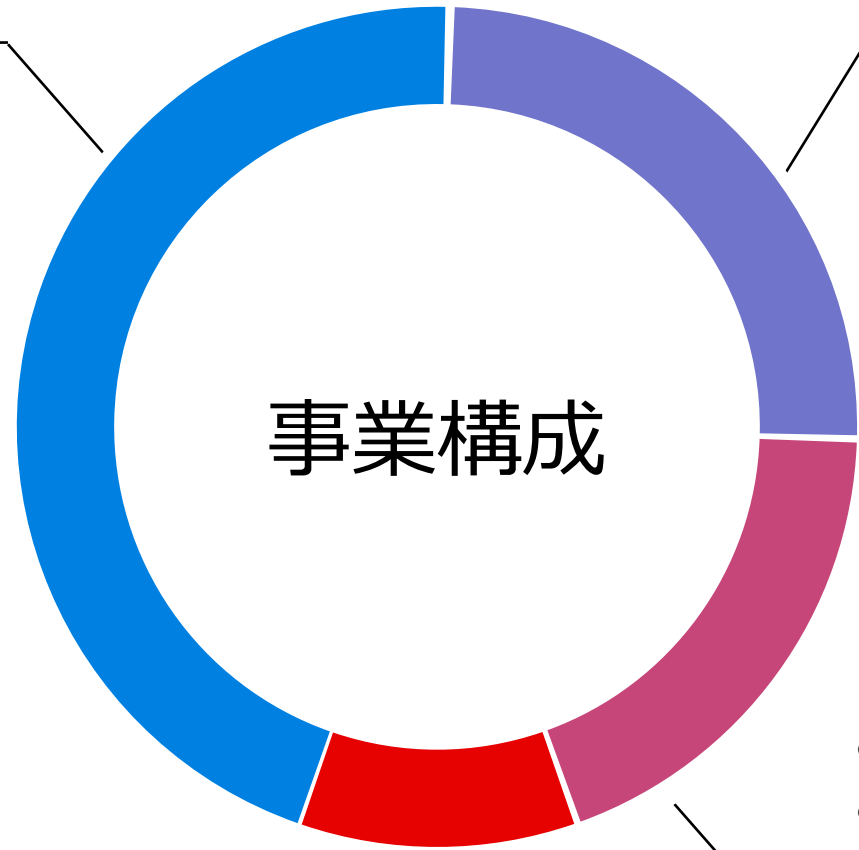
その他グループ会社にてエンジニアリング事業、人材事業などを展開

AD

- 運用型広告の成果にコミット
- ブランディング広告も強化
- 成果改善エンジンAD CREATIVE事業によりさらに成長加速

SEO

- 戦略から実装まで一気通貫
- アルゴリズム研究
- コンテンツマーケティングも強化
- オウンドメディアの制作運営



- マーケティングダッシュボード構築
- 大量データの可視化・分析・活用
- マーケティングオートメーション構築
- DX推進のコンサルティング

- WEBサイト制作中心
- 成果型サイトの綿密な設計が得意
- ブランディングの上流工程から戦略パートナーとして実行

DX

CREATIVE



Appendix・あとがき

御支援開始までの流れ

御支援を開始するまでの流れの一例となります。御見積を試算するうえで、ドキュメントや環境アカウント情報の御提供をお願いさせていただく場合がございますので、御協力の程何卒よろしくお願いいたします。

ステップ	お打ち合わせ		御見積試算		御見積御提案		御発注手続き		御支援メンバ選定		キックオフ	
マイルストン	NDA締結						基本契約書締結 注文書受領				プロジェクト開始	
確認事項	<ul style="list-style-type: none"> 検証目的 検証対象 全体スケジュール 品質基準 検証内容 検証環境 コミュニケーション方法 納品物件 	<ul style="list-style-type: none"> 技術者同席のもと、検証目的を達するために必要な事項の確認打合せを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 御提案（デリバリプラン）内容 デリバリスケジュール 請求スケジュール 請求書の送付方法 御見積金額 	<ul style="list-style-type: none"> 御発注までのスケジュール 御発注時に必要な書類 入館手続き ※訪問、常駐時 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトキックオフ日程 	<ul style="list-style-type: none"> 御契約内容 実施内容 						
貴社への御協力依頼	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメント類の提供 環境ログイン情報 環境ログイン権限 NDA締結手続き 	<ul style="list-style-type: none"> ヒアリング打合せの御参加 追加情報の御提供 	<ul style="list-style-type: none"> 貴社内稟議スケジュールの確認 	<ul style="list-style-type: none"> 基本契約書締結手続き 稟議フローの推進 注文書の送付 	<ul style="list-style-type: none"> キックオフ日程調整 	<ul style="list-style-type: none"> キックオフミーティングの参加 						
備考	<ul style="list-style-type: none"> 常駐での御支援を御要望される際は、1ヶ月以上前から人選の調整が必要となります。 	<ul style="list-style-type: none"> お打ち合わせ時に決めきれなかった内容は本ステップにてすり合わせを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> - 	<ul style="list-style-type: none"> 御発注に必要な書面の御指定がある際は御教授願います。 	<ul style="list-style-type: none"> - 	<ul style="list-style-type: none"> 本ステップにて御契約内容と要望に大きな乖離があった際は、両社にて相談を実施し推進します。 						

弊社は第三者検証専門会社として、お客様の製品の品質向上の為に必要な検証ソリューションを今後も提供して参ります。

本資料をご閲覧いただいた上で、お客様のより良い製品・サービス開発の一助として、弊社の検証ソリューションをご活用いただけますようご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ】 株式会社ヴェス 営業本部

Mail : e-sales@ves.co.jp

TEL : 03-6277-0440 (代表)

FAX : 03-5794-3742

ヴェスのホームページは
こちらから
<https://www.ves.co.jp>





validation engineering service